

# 床置形 据付工事説明書

PGA012D413

201903



本説明書は、室内ユニットの据付方法を記載してあります。  
電気配線（室内ユニット）は、電気配線工事説明書をご覧ください。  
リモコンの取付方法は、リモコン付属の説明書をご覧ください。  
ワイヤレスリモコンの取付方法は、ワイヤレスリモコン付属の説明書をご覧ください。  
室外ユニットの据付方法、電気配線（室外ユニット）及び冷媒配管工事方法は、室外ユニットの付属の説明書をご覧ください。  
また、故障診断は、室内ユニットの結線図表をご覧ください。  
本室内ユニットは必ずパネルを取付けてご使用ください。  
この室内ユニットは、日本国内用に設計されているため海外では使用できません。また、海外においてはアフターサービスもできません。  
This product is designed for use only in Japan and cannot be used in any other countries. No servicing is available outside of Japan.

## 安全上のご注意

- 据付工事は、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ確実に行ってください。
- ここに示した注意事項は、**【△警告】**、**【△注意】**に区分していますが、誤った据付けをした時に、死亡や重傷等の重大な結果に結びつく可能性が大きいものを特に**【△警告】**の欄にまとめて記載しています。しかし、**【△注意】**の欄に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- ここで使われる“図記号”の意味は右のとおりです。**【△】** 絶対に行わない **【○】** 必ず指示に従い行う
- 据付工事後、試運転を行い、異常がないことを確認するとともに、取扱説明書にそって、「安全上のご注意」や正しい使用方法・お手入れの仕方（エアフィルタの清掃、運転操作の仕方、温度調節の方法など）をお客様に説明してください。  
この据付説明書は取扱説明書と共にお客様で保管いただくように依頼してください。また、お使いになる方が代わる場合は、新しくお使いになる方に取扱説明書などをお渡しいただくよう依頼してください。

### △警告

- 据付けは、お買い上げの販売店又は専門業者に依頼する。  
ご自分で据付工事をされ不備があると、水漏れや感電・火災、室内ユニット落下によるケガの原因になります。
- 据付けは、この据付説明書に従って確実に行う。  
据付けに不備があると破裂・ケガの原因となり、また水漏れや感電・火災などの原因になります。
- 小部屋に据付けの場合は万一冷媒が漏れても、限界温度を超えない対策をする。（JRA GL-13）  
限界温度を超えない対策については、販売店と相談して据付けろ。万一、冷媒が漏洩して限界温度を超えると融欠事故の原因になります。
- 設置工事部品は必ず付属品および指定の部品を使用する。  
当社指定の部品を使用しないと、室内ユニット落下、水漏れ、火災、感電などの原因になります。
- 作業中に冷媒が漏れた場合は換気をする。  
冷媒が火気に触れると有毒ガスが発生する原因になります。
- 据付けは、重量に十分耐える所に確実に行う。  
強度が不足している場合は、室内ユニットの落下・転倒などにより、ケガの原因になります。
- 台風などの強風、地震に備え、所定の据付工事を行う。  
据付工事に不備があると、転倒などによる事故の原因になります。
- 室内ユニットの設置や移動の場合、冷凍サイクル内に指定冷媒以外の空気などを入れない。  
空気などが混入すると冷凍サイクル内が異常高圧になり、破裂、ケガなどの原因になります。
- 電気工事は電気工事士の資格のある方が、「電気設備に関する技術基準」、「内線規程」及び据付説明書に従って施工し、必ず専用回路を使用する。  
電源回路容量不足や施工不備があると感電、火災などの原因になります。
- 配線は、所定のケーブルを使用し確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように固定する。  
接続や固定が不完全な場合は、発熱、火災などの原因になります。
- 室内外ユニット間の配線は、端子カバーが浮き上がらないように整形し、カバーを確実に取付ける。  
カバーの取付けが不完全な場合は、端子接続部の発熱、火災、感電などの原因になります。
- 据付け工事後完了、冷媒ガスが漏れていないことを確認する。  
冷媒が室内に漏れ、ファンヒーター、ストーブ、コンロなどの火気に触れると有毒ガスが発生する原因になります。
- 配管、フレアナット、工具はR32用またはR410A専用のものを使用する。  
既存（R22）の部材を使用すると、機器の故障と同時に冷凍サイクルの破裂などの重大な事故の原因になります。
- フレアナットは、トルクレンチで指定の方法で締付ける。  
フレアナットの締付け過ぎがあると、長期経過後フレアナットが割れ冷媒漏れの原因になります。
- ドレン配管はイオウ系ガス等有毒ガスの発生する排水溝に直接入れない。  
室内に有毒ガスが侵入し、中毒や酸素欠乏になる恐れがあります。また、室内機を腐食させ、故障や冷媒漏れの原因になります。
- 据付け作業では圧縮機を運転する前に確実に冷媒配管を取付ける。  
冷媒配管を取付けておらずサービスバルブ開放状態で圧縮機を運転すると、空気などを吸引し、冷凍サイクル内が異常高圧になり、破裂、ケガなどの原因になります。
- ポンプダウン作業では、サービスバルブを閉じた後配管を外す前に圧縮機を停止する。  
圧縮機を運転したままサービスバルブ開放状態で冷媒配管をはずすと空気などを吸引し、冷凍サイクル内が異常高圧になり、破裂、ケガなどの原因になります。
- オプション部品は、必ず当社指定の部品を使用する。また取り付けは専門業者に依頼する。  
ご自分で取付けをされ、不備があると、水漏れや感電、火災等の原因になります。
- 改修は絶対にしない。また、修理はお買い上げの販売店に相談する。  
修理に不備があると水漏れや感電、火災などの原因になります。
- エアコンを移動再設置する場合は、販売店または専門業者に相談する。  
据付けに不備があると水漏れや感電、火災などの原因になります。
- 室内ユニットの修理・点検作業に際して「電源ブレーカ」を必ずOFFする。  
点検・修理にあたって、電源ブレーカがONのままだと、感電およびファン回転によるケガの原因になります。
- パネルやガードを外した状態で運転しない。  
機器の回転物、高温部、高電圧部に触れると、巻き込まれたり、やけどや感電によるケガの原因になります。
- 元電源を切った後に電気工事を行う。  
感電、故障や動作不良の原因になります。

### △注意

- アース（接地）を確実に行う。  
アース線は、ガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。アース（接地）が不完全な場合は、故障や漏電のとき感電や火災の原因になることがあります。
- 漏電遮断器は必ず取り付けろ。  
漏電遮断器が取付けられていないと火災や感電の原因になることがあります。
- 正しい容量の全極遮断するブレーカ（漏電遮断器・手元開閉器（開閉器＋B種ヒューズ）・配線遮断器）を使用する。  
不適切な容量のブレーカを使用すると故障や火災の原因になることがあります。
- 正しい容量のヒューズ以外は使用しない。  
針金や銅線を使用すると故障や火災の原因になることがあります。
- 可燃性ガスの漏れる恐れのある場所への設置は行わない。  
万一ガスが室内ユニットの周囲に溜ると、発火の原因になることがあります。
- 腐食性ガス（亜硫酸ガスなど）、可燃性ガス（シンナー、ガソリンなど）の発生、滞留の可能性のある所、揮発性引火物を取扱う所での据付け、使用は行わない。  
熱交の腐食、プラスチック部品の破損などの原因になることがあります。また可燃性ガスは発火の原因になることがあります。
- 工事、点検、メンテナンス作業のための規定のスペースを確保してください。  
スペースが不足する場合は、設置場所からの転落によるケガの原因になることがあります。
- 洗濯室など、水の掛かる所では使用しない。  
室内ユニットは水の浸入に対する保護はしていません。水が掛かると感電、火災などの原因になることがあります。
- 食品・動植物・精密機器・美術品の保存など特殊用途には使用しない。  
保存物の品質低下などの原因になることがあります。
- 病院、通信事業所などの電磁波が発生する機器、高周波の発生する機器の近くでは据付け、使用しない。  
インバータ機器、自家発電機、高周波医療機器、無線通信機器の影響によるエアコンの誤作動や故障の原因になったり、エアコン側から医療機器あるいは通信機器へ影響を与え人体の医療行為を妨げたり、映像放送の乱れや雑音など弊害の原因になることがあります。
- 直射日光の当たる所にリモコンを設置しない。  
リモコンの故障や変形の原因になることがあります。
- 次の場所への据付けは避ける。
  - ・可燃性ガスの漏れる恐れがある所
  - ・硫黄系ガス・塩素系ガス・酸・アルカリ・アンモニアなど、
  - ・煙灰の煙がかかる所
  - ・腐食性ガス・塩素系ガス・酸・アルカリ・アンモニアなど、
  - ・カーボン繊維や金属粉、パウダーなどが浮遊する所
  - ・油の飛沫や蒸気が多い所（調理場、機械工場など）
  - ・車両・船舶等移動するものへの設置
  - ・化粧品、特殊なスプレーを頻繁に使用する所
  - ・高周波を発生する機械を使用する所
  - ・積雪の多い所
  - ・海浜地区等塩分の多い所
  - ・標高1000m以上の所性能を著しく低下させたり、部品が腐食、破損したりする原因になることがあります。
- 次の場所への室内機の据付けは避ける。（機種により異なる制限があるので、その指示に従うこと）。
  - ・吸込口、吹出口に風の障害物がある所
  - ・人が立ち寄り、身体が接触する所
  - ・人感センサ搭載の場合は次のような場所への設置はしないでください。誤検知・検知不能・特性劣化を招く恐れがあります。
  - ・ワイヤレス機の場合、受光部に直接太陽光や強い光が当たる所
  - ・長時間振動が加わる状態
  - ・高周波に影響される機器のある所（TV およびラジオ等の近傍）
  - ・静電気や強い電磁波のある場所
  - ・ドレンの排水口と近い所
  - ・長時間高温、多湿になる場所
  - ・塵埃の多い場所、レンズ面に汚れ及び損傷を与える恐れのある場所性能や機能等に影響をおよぼす原因になります。
- 室内ユニットの下部には、濡れて困るものは置かない。  
湿度が80%以上の時や、ドレン排水が詰まった場合に、室内ユニットから露が滴下し損傷が生じることがあります。
- 長期使用で傷んだままの据付台を使用しない。  
傷んだ状態で放置するとユニットの落下につながり、ケガなどの原因になることがあります。
- ユニット近くで溶接作業を行う場合は十分注意し、ユニット内へのスパッタの進入を防止する。  
溶接作業時に発生するスパッタがユニットにあたる場合、ドレンパンなどに損傷（ピンホール）をあたえ、水漏れなどの原因になることがあります。ユニット内へのスパッタの進入を防ぐため梱包状態のままとしておくが、覆いなどにより必ずカバーをしてください。
- ドレン工事は、据付説明書に従って確実に排水するように配管する。  
不確実な場合、腐食などをもたらす原因になることがあります。
- GHP（ガスヒートポンプ）の場合、室外ユニットの排気ドレン管と室内ユニットの排水ドレン管は共用しない。  
室内に有毒ガスが流入し、中毒や酸素欠乏になることがあります。
- 冷媒配管工事終了後は窒素ガスによる気密試験を行い、漏れのないことを確認してください。  
万一、狭い部屋に冷媒ガスが漏洩して限界温度を超えると融欠事故の原因になることがあります。
- ドレン配管は下り勾配（1/100以上）とし、途中山越えやトラップを作らない。また、ドレン配管にエア抜きは、絶対に設けない。  
試運転時にドレン排水が確実に行われていることを確認する。また、点検・メンテナンス作業のためのスペースを確保する。
- 冷媒配管の断熱は結露しないように確実に行う。  
不完全な断熱施工を行うと配管などが結露して、露たれなどを発生し、天井・床その他、大切なものを濡らす原因になることがあります。
- 室外ユニットは、小動物のすみかになるような場所に設置しない。  
小動物が侵入して、内部の電気部品に触れると、故障や発熱・発火の原因になることがあります。  
また、お住まいの周辺に害を及ぼす恐れがあります。
- 製品の運搬は十分注意して行う。  
20kg以上の製品は原則として2人以上で行ってください。PPバンドなど所定の位置以外をもって製品を動かさないで下さい。  
また、サービスバルブなどに触れるとケガをする場合がありますので保護具をご使用ください。
- 梱包材の処理は確実に行う。  
梱包材にクギなどの金属あるいは、木片などを使用していますので放置状態にしますとケガをすることがあります。
- フィルタをはずしたまま運転しない。  
内部にゴミなどが入りやすくなり、故障の原因になることがあります。
- 濡れた手でスイッチを操作しない。  
感電の原因になることがあります。
- 運転中の冷媒配管を素手で触れない。  
運転中の冷媒配管は流れる冷媒の状態により低温と高温になります。素手で触れると凍傷や、やけどになることがあります。
- エアコンを水洗しない。  
感電の原因になることがあります。
- 運転停止後、すぐに電源を切らない。  
必ず5分以上待ってください。水漏れや故障の原因になることがあります。
- 電源ブレーカによるエアコンの運転や停止をしない。  
火災や水漏れの原因になることがあります。ファンが突然回り、ケガの原因になることがあります。
- 電源ブレーカが入っている時は、ファンの回転に注意する。  
冷媒センサが冷媒の漏えいを検知すると、ファンが自動で回転し、ケガの原因になることがあります。
- 可燃性ガスを使用する環境には設置しない。  
冷媒センサの誤検知により異常停止し、運転できなくなる場合があります。
- 冷媒センサに水滴が付着しないよう冷媒配管、ドレン配管を接続する。  
冷媒センサに水が掛かると、冷媒センサの故障や感電・火災の原因になることがあります。

## ①据付け前に

○据付はこの据付説明書に従って正しく行なってください。

○工事計画にあつておりますか。

機種・電源仕様

確認してください

配管・配線・小物部品

付属品

付属品収納場所（梱包時）

※1. 吸込グリルを開けると(1)フレアナット部断熱用の1～3の部品が袋詰めされ後面板の上に置かれています。

※2. 吸込グリルを開けると(2)据付関係の2～4の部品が袋詰めされ、後面板の上に置かれています。

※3. 転倒防止金具はユニット上部へ取り付けられています。

※4. L金具はユニット下部へ取り付けられています。

## ②室内ユニットの据付け場所の選定

室内ユニット据付スペース

（単位：mm）

●侵入外気の影響のない所。

●直射日光の当たらない所。

●周囲の露点温度が23℃以下、相対湿度80%以下の所。

（本室内ユニットはJIS露点条件（室内：27℃（78%RH）にて試験を行い、不具合のないことを確認しておりますが、室内ユニット周囲が上記条件以上の高湿度雰囲気の状態を運転すると水滴が落下する恐れがあります。そのような条件下で使用する可能性がある場合は、室内ユニットの全ておよび配管、ドレン配管にさらに10～20mmの断熱材を取付けてください。）

●テレビ、ラジオより1m以上離れた所。（映像の乱れや雑音が生じることがあります。）

●室内ユニットの直近に食品・食器やパソコン・サーバー、医療機器など濡れて困るものを置かない所。

●調理器具が発する熱の影響を受けない所。

●フライヤーの周辺など油・粉・蒸気などを直接吸込まない所。

●蛍光灯、白熱灯よりできるだけ離れた所。

●ワイヤレス機種の場合、ワイヤレスリモコンでの正常な操作ができなくなることがあります。

●室外への配管、配線のしやすい所。

●据付け部の床が強度である所。

②据付けようとする場所が室内ユニット重量に耐えられるかどうか検討し、危険と思われましたら板、桁等で補強して据付け作業を行ってください。強度不足の場合は、室内ユニット転倒によるケガの原因になります。

③ワイヤレス機種を2台以上据付けるとは、混信による誤動作を防止するため室内ユニット間を6m以上離してください。

## ③室内ユニットの据付け

搬入

前面が上

お願い

●搬入時は、できるだけ据付現場の近くまで梱包のまま搬入してください。

●やむをえず解梱して搬入する場合は、ナイロンスリングなどで包みユニットを傷つけないよう注意してください。

注）吸込グリル、吹出ルーバ等プラスチック部分を持たないでください。

●解梱後、ユニットを置く場合は、必ずユニット前面側を上にして置いてください。

△警告

●冷媒R32はわずかながら可燃性があります。そのため、下記事項を必ず守ってください。

床置き形室内機を設置・修理・移設する際の室内作業時は、冷媒センサを携行しながら作業を実施してください。冷媒漏えいが発生した場合、窒息や引火の原因となる恐れがあります。

## ③室内ユニットの据付けのつづき

お願い

●必ず転倒防止金具、L金具を取付けて固定してください。

・このユニットは縦長形状のため、ユニットを所定の位置にセットしたら直ちに転倒防止処置をしてください。

ユニット転倒防止要領

転倒防止用金具

（ユニット正面側）

◆作業手順

(1) 転倒防止金具の取り付け

(2) L金具の取り付け

据付寸法（転倒防止用金具）

金具下向きの場合	金具上向きの場合

●寸法値はユニットと壁面、床面の調節可能寸法を示します。

●金具の長辺側をユニットに取り付けてください。

●金具下向きの場合は、先に金具を壁へ取り付けてください。

据付寸法（L金具）

△警告

壁穴をバテで完全にシールしてください。（ホコリ・昆虫・小動物・高湿度の外気が室内機内に入り、火災の原因になることがあります。）

△注意

壁穴をバテで完全にシールしてください。（水漏れ・露たれし、家財等を濡らす原因になることがあります。）



④冷媒配管

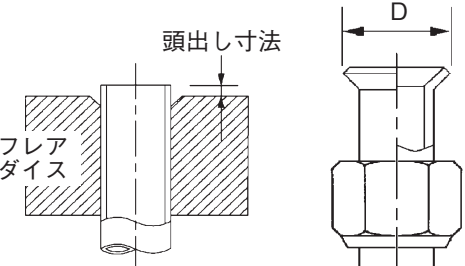
冷媒配管時の注意事項

●冷媒配管は、新規配管をご使用ください。フレアナットは、製品付属のもの（JIS B 8607 2種適合品）をご使用ください。他のフレアナット（1種）を使用すると冷媒漏れの原因となります。

既設配管再利用の可否及び洗浄方法については、室外ユニットの据付説明書又はカタログ・技術資料で確認してください。

1) 再利用する場合、フレアナットは流用せず室内ユニットに付属のもの又はJIS B 8607 2種適合品を使用してください。

2) 再利用する場合、部分的に交換した新しい配管に、R32用またはR410A用のフレア加工をしてください。



配管径 d mm	配管の 最小肉厚 mm	フレア加工 頭出し寸法 mm		フレア外径 D mm	フレアナット 締付けトルク N・m
		リジッド（クラッチ式） R32用 R410A用	従来ツール		
6.35	0.8	0～0.5	0.7～1.3	8.9～9.1	14～18
9.52	0.8			12.8～13.2	34～42
12.7	0.8			16.2～16.6	49～61
15.88	1			19.3～19.7	68～82
19.05	1.2			23.6～24.0	100～120

●冷媒配管は、リン脱酸銅合金継目無銅管（C1220T、JIS H 3300）をご使用ください。

また管の内外面は美麗であり、使用上有害な硫黄、酸化物、ゴミ、切粉等（コンタミ）の付着がないことを確認してください。

冷媒配管の内部にコンタミの付着があると冷凍機油劣化などの原因になります。

●指定冷媒以外は使用しないでください。

指定冷媒以外を使用すると、冷凍機油劣化などの原因になります。また空気などが混入すると、異常高圧になり、破裂などの原因になります。指定冷媒は室外ユニットの形式ラベルをご覧ください。

●据付けに使用する配管は屋内に保管し、両端ともろう付けする直前までシールしてください。

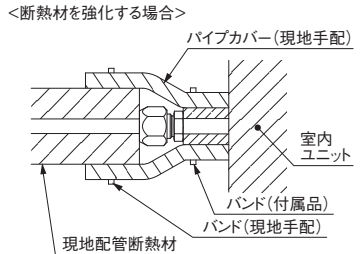
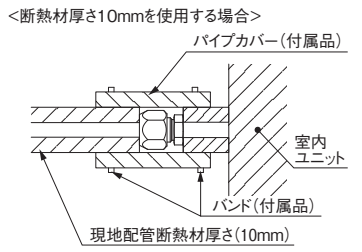
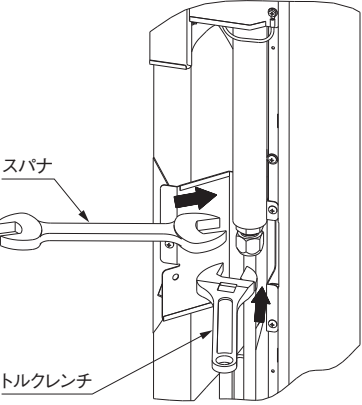
冷媒回路内に埃、ゴミ、水分が混入すると、油の劣化・圧縮機の故障の原因になります。

●工具はR32用またはR410A用の工具を使用してください。

●冷媒センサに水滴が付着しないように冷媒配管を接続してください。

作業手順

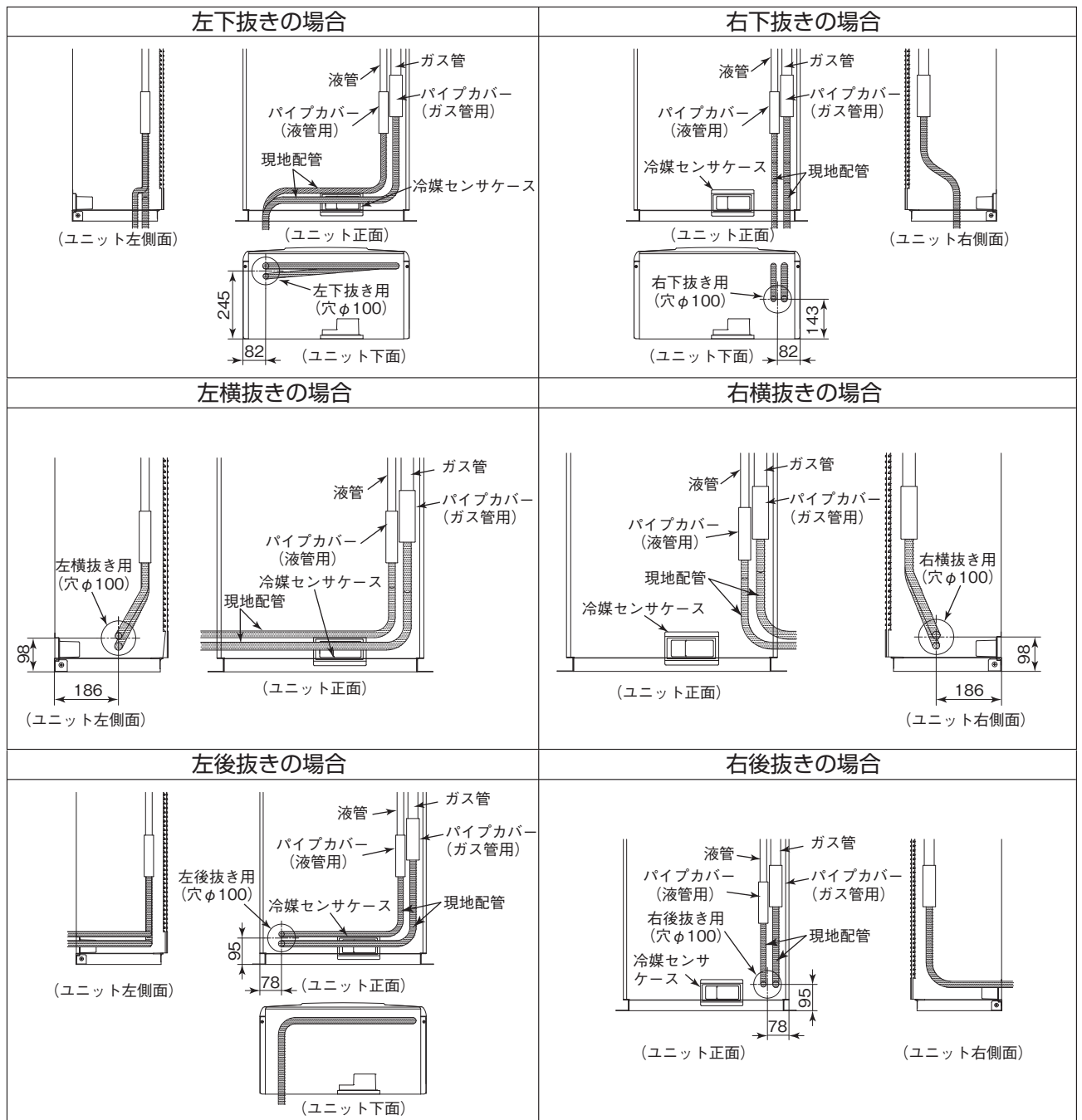
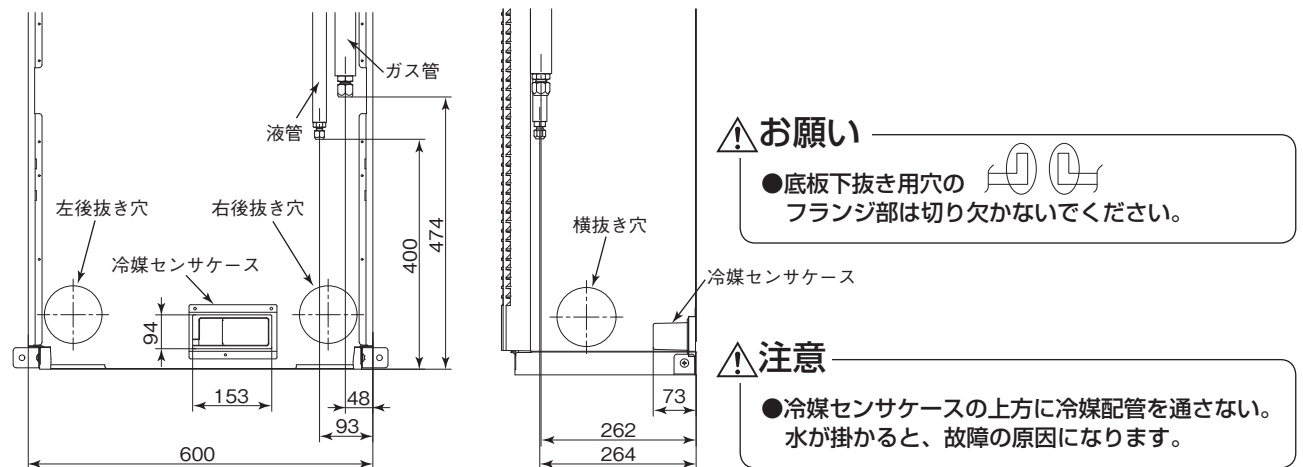
- 室内ユニットのフレアナット及びキャップをを外してください。  
※室内ユニットの配管端部のフレアナットは、必ずスパナで2丁掛け外してください。（このときガスが出るがありますが、異常ではありません。）
- フレアナット飛びに注意してください。（内部に圧力がかかっている場合があります。）
- 液管・ガス管をフレア加工し、冷媒配管を接続してください。  
※配管の曲げは4D以上の大きな半径で行い、曲げなおしを行わないでください。  
また配管をねじったり、2/3D以下につぶしたりしないでください。  
※フレア接続は、以下のように行ってください。
  - ・フレアナット接続時は、フレア中心を合わせ、最初手回しで3～4回転ねじ込み、2丁スパナ掛けで表の締付力で締めてください。
- 室内ユニットのフレア部は、ガス漏れチェック後、右図に示すように断熱材をかぶせ、バンドでしっかりと締付けてください。



注意  
同一締付けトルクでも、ユニオンのねじ部に冷凍機油を塗布した場合は、ねじ部摺動摩擦力が下がることにより、軸方向分力が増加してフレアの応力腐食割れの原因となることがあるため、ユニオンねじ部、又はフレア外面への冷凍機油塗布は推奨しません。  
冷凍機油を塗布する場合は、フレア内面へのみとしてください。

④冷媒配管のつづき

◆配管・配線取出し位置



⑤ドレン配管

ドレン配管時の注意事項

●ドレン工事は、据付説明書に従って確実に排水するように配管してください。

不確実な場合、屋内に浸水し、家財等を濡らす原因になることがあります。

●ドレン配管はイオウ系ガスなど有害ガス及び可燃性ガスが発生する排水溝には、入れないでください。

室内に有害ガス及び可燃性ガスが流入し、中毒や酸素欠乏になることがあります。また熱交換器の腐食、異臭の原因になります。

●接続部から水漏れのないように確実に施工してください。

●水漏れが起こらないように、断熱工事を確実に行ってください。

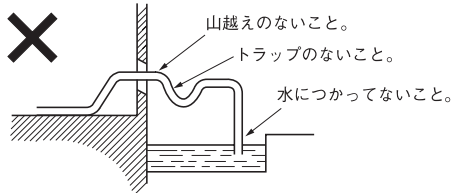
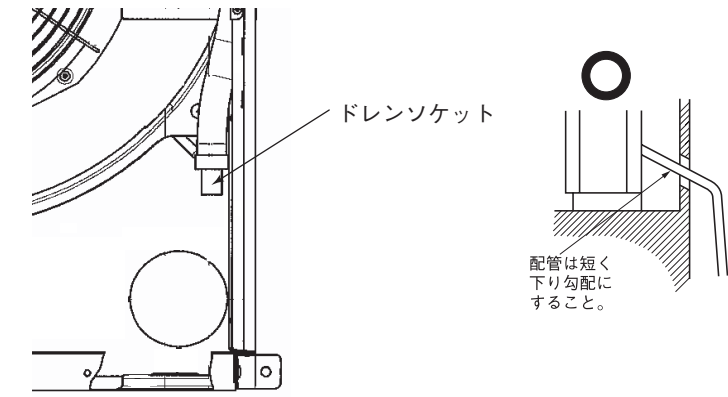
●施工後、ドレンが排水されていることを、室内ユニットのドレン口及びドレン配管最終出口部で確認してください。

●ドレン配管は下り勾配（1/100以上）とし、途中山越えやトラップを作らないでください。また、ドレン配管にエア抜きは、絶対に設けないでください。

試運転時にドレン排水が確実に行われていることを確認してください。また、点検・メンテナンス作業のためのスペースを確保してください。

作業手順

- ドレンソケットに現地側ドレン配管（VP-20）をつなぎ、粘着テープなどで固定してください。（接着剤使用不可）
- 現地側ドレン配管が屋内を通る場合は必ず市販の断熱材（発泡ポリエチレン比重0.03、肉厚15mm以上）を巻き、結露を防止してください。



△注意

●冷媒センサケースの上方にドレン配管を通さない。水が掛かると故障の原因になります。

⑥電気配線取出位置および電気配線接続

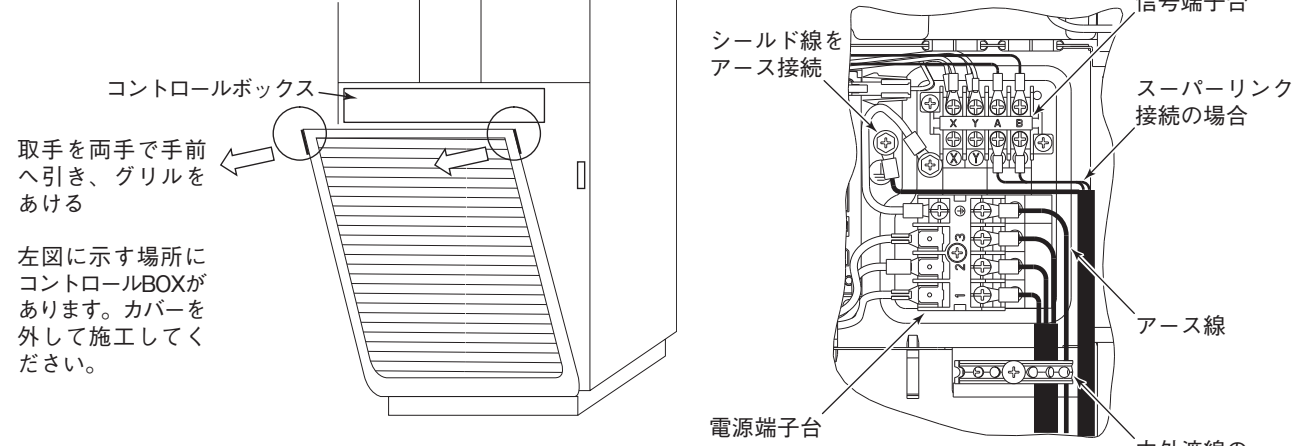
コントロールボックス位置及び電源コード経路

●電気工事は電気工事士の資格のある方が、「電気設備に関する技術基準」「内線規程」及び電気配線工事説明書に従って施工し、必ず専用回路を使用してください。

●配線は、所定のケーブルを使用し確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように固定してください。

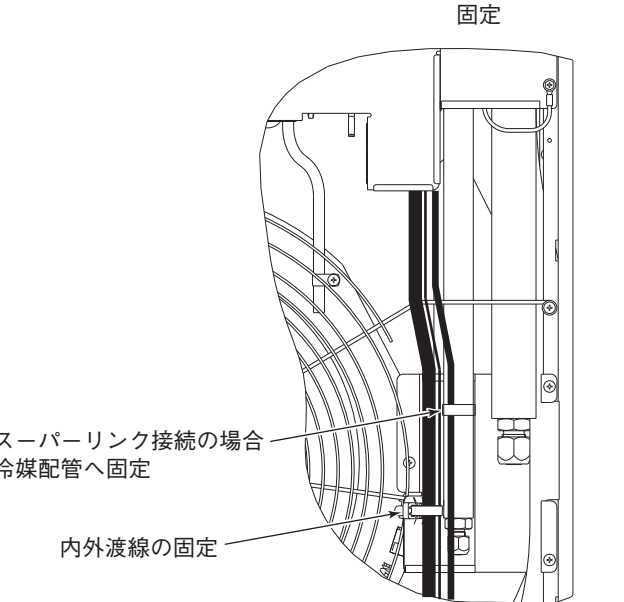
●D種接地工事を必ず行ってください。

●電気配線工事の詳細は、付属の電気配線工事説明書をご覧ください。



◆作業手順

- コントロールボックスの蓋のねじ（1個）を外してください。
- 各配線をコントロールボックス内に入れ、端子台に確実に接続してください。
- 各配線をクランプ（固定用）で固定してください。
- コントロールボックスの蓋を元通りに取付けてください。



⑦室内ユニット据付け工事完了後のチェック項目

●室内ユニット・パネル据付工事、電気配線工事完了後、下記項目についてチェック願います。

チェック項目	不良の場合	チェック欄
室内外ユニットの取付けはしっかりしていますか。	落下、振動、騒音	
ガス漏れ検査は行いましたか。	冷えない	
断熱は完全に行いましたか。	水漏れ	
ドレン排水はスムーズに流れていますか。	水漏れ	
電源電圧は本体の銘板と同じですか。	運転不能・焼損	
誤配線・誤配管はありませんか。	運転不能・焼損	
アース工事はされていますか。	漏電時危険	
配線の太さは仕様通りですか。	運転不能・焼損	
室内外ユニットの吸込・吹出口が障害物でふさがれていませんか。	冷えない	



# 電気配線工事説明書

PGA012D414

201903

電気配線工事は電気設備技術基準及び内線規程に従い、電力会社の認定工事店で行ってください。

集中制御（スーパーリンク）接続の場合は、セゾンエアコンスーパーリンク配線工事説明書を参照してください。



## 安全上のご注意

- 作業前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しく作業してください。

**安全のため必ずお守りください。**

- 誤った作業、行為をしたときに生じる危害や損害を「**△警告**」と「**△注意**」に区分し、お守りいただく内容を「図記号」を使用し説明していますので、必ずお守りください。
- 「**△警告**」「**△注意**」の意味

<b>△警告</b>	守らないと、死亡または重大な障害にいたる危険性がある事項について説明しています。	<b>△注意</b>	守らないと、傷害や物的損害ある事項について説明しています。
------------	--	------------	-------------------------------

- ここで使われる「図記号」の意味は右のとおりです。

⊙	絶対に行わない	⓪	必ず指示に従い行う
---	---------	---	-----------

- 下記のことを必ず守ってください。守らないときは、感電による火災、感電又は過熱、ショートによる火災のおそれがあります。

### △警告

- 電気工事は電気工事士の資格のある方が、「電気設備に関する技術基準」、「内線規程」及び電気配線工事説明書に従って施工し、必ず専用回路を使用する。

電源回路容量不足や施工不備があると感電、火災の原因になります。
- 配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように固定する。

接続や固定が不完全な場合は、発熱、火災などの原因になります。
- 室内外ユニット間の配線は、端子カバーが浮き上がらないように整形し、カバーを確実に取付ける。

カバーの取付けが不完全な場合は、端子接続部の発熱、火災や感電の原因になります。
- 別売品は、必ず当社指定の部品を使用する。また、取付けは専門業者に依頼する。

ご自分で取付けをされ、不備があると、水漏れや感電、火災などの原因になります。
- 改修は絶対にしない。また、修理はお買い上げの販売店に相談する。

修理に不備があると水漏れや感電、火災などの原因になります。
- 室内外ユニットを移動再設置する場合は、販売店または専門業者に相談する。

据付けに不備があると水漏れや感電、火災などの原因になります。
- 室内外ユニットの修理・点検作業に際して「電源ブレーカ」を必ず OFF する。

点検・修理にあたって、電源ブレーカが ON のままだと、感電およびファン回転によるケガの原因になります。
- 元電源を切った後に電気工事をする。

感電、故障や動作不良の原因になります。

### △注意

- アース（接地）を確実に行う。

アース線は、ガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。アース（接地）が不完全な場合は、故障や漏電のとき感電や火災の原因になることがあります。
- 電源には必ず漏電遮断器（高調波対応品）を取付ける。

漏電遮断器が取付けられていないと感電や火災の原因になることがあります。
- 正しい容量の全極遮断するブレーカ（漏電遮断器・手元開閉器（開閉器＋B 種ヒューズ）・配線遮断器）を使用する。

不適切な容量のブレーカを使用すると故障や火災の原因になることがあります。
- 正しい容量のヒューズ以外は使用しない。

針金や銅線を使用すると故障や火災の原因になることがあります。
- 電源配線は、電流容量に合った規格品の配線を使用する。

漏電や発熱・火災などの原因になることがあります。
- 室内外接続用端子台および電源用端子台に単線とより線を併用しない。

また、異なったサイズの単線またはより線を併用しない。

端子台のねじゆるみや接触不良が生じ、発煙・発火の原因になることがあります。
- 運転停止後、すぐに電源を切らない。

必ず 5 分以上待ってください。水漏れや故障の原因になることがあります。
- 電源ブレーカによるエアコンの運転や停止をしない。

火災や水漏れの原因になることがあります。ファンが突然回り、ケガの原因になることがあります。
- 電源ブレーカが入っているときは、ファンの回転に注意する。

冷媒センサが冷媒の漏えいを検知すると、ファンが自動で回転し、ケガの原因になることがあります。

## 制御の切り換えと機種容量の設定

- 室内ユニットの制御内容を下記方法にて切り換え可能です。（

--

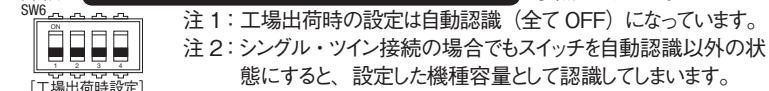
は工場出荷時の設定）

スイッチNo.	制御内容
SW1	室内アドレス(10位)
SW2	室内アドレス(1位)
SW5-1	親/子切換(ブルーラル/子機設定)
SW5-2	
SW6-1～4	機種容量
SW7-1	ON 運転チェック・ドレンポンプ試運転
	OFF 通常運転
SW7-2	ON 旧SL通信仕様固定
	OFF 新SL/旧SL通信仕様自動判別
SW7-3	室内アドレス(100位) OFF:0 ON:100

シングル・ツイン接続の場合 ※同機種 / 同容量の室内ユニットを接続する場合

- ①室外ユニットから電源投入すると自動で機種容量を認識しますので、スイッチ設定は不要です。
- ②エコタッチリモコンから、機種容量を確認できます。

詳細は **②室内ユニットのアドレス機種容量確認方法** を参照してください。

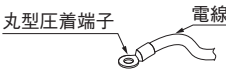


集中制御（スーパーリンク）接続の場合 セゾンエアコンスーパーリンク配線工事説明書を参照

SW7-2 を設定してください。

## ①電源・室内外配線の接続

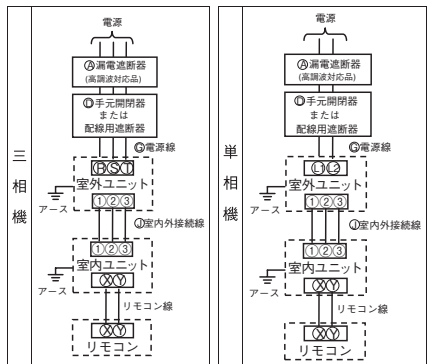
- 電気工事は電力会社の認定工事店で行ってください。本配線仕様は、下記に基づいて決定しています。
- ①配線は銅線以外のものを使用しないでください。
- ②電源は、室外ユニットへ接続してください。
- ③電気ヒータ（別売品）はなしにて記載してあります。注:電気ヒータの組込みは不可です。別置ヒータを連動させる場合は、ヒータ専用電源を設けること。
- アース線は室内外接続線及び室内ユニット間配線の接続前に接続してください。また、アース線は室内外接続線より長くし、アース線に力がかからないようにしてください。
- 電源は工事が完了するまで入れないでください。
- D種接地工事を必ず行ってください。
- 端子台への接続は、丸型圧着端子を使用してください。
- 専用の分岐回路を用い、他の機器と併用しないでください。併用した場合、電源ブレーカ落ちによる二次災害が生じる恐れがあります。
- 室内外接続線は必ず3心ケーブルを使用してください。詳細は室外ユニットに付属の据付説明書を参照ください。
- 室内外接続線は途中接続しないでください。途中接続した場所に水が浸入すると、対地間絶縁不良や途中接続部の接触不良をまねき、通信異常の原因となります。（万一、途中接続する場合には、絶対に水が浸入しないような処置を行ってください。）
- 天井裏内の配線（電源・リモコン・室内外接続線など）はネズミ等により、かじられ切断することもありますので、なるべく鉄管等の保護管内に通してください。
- 室内外ユニットの外部では、リモコン線と電源線が直接接触しないように施工してください。
- リモコン用端子台には、200V電源を絶対に接続しないでください。故障の原因となります。
- 室内外接続線・室内ユニット間配線・アース線およびリモコン線の接続
- ①室内外接続線・室内ユニット間配線・アース線およびリモコン線の接続は、制御箱内の電源側端子台、リモコン側端子台に接続してください。室内外接続線の①②③は極性がありますので、必ず番号を合わせて接続してください。また、アース線は、電源側端子台アース端子に接続してください。
- ②電源には必ず漏電遮断器を取付けてください。漏電遮断器は、インバータ回路用遮断器（三菱電機製NV-Cシリーズまたは、その同等品）を選定してください。
- ③漏電遮断器が地絡保護専用の場合には、漏電遮断器と直列に手元開閉器（開閉器＋B種ヒューズ）または、配線用遮断器が必要となります。
- ④手元開閉器は室外ユニットの近傍に設置してください。
- 配線の接続はねじの緩みのないように確実に行ってください。また、制御箱内のコネクタの抜けや端子外れがないことを確認してください。
- 補助電気ヒータ組込の場合は、電気ヒータ組込時の説明書・または技術資料で確認してください。



### シングル接続の結線

室内電源とり及び室内外別電源とりは原則できません。

※ 例外的な接続方法の場合は技術資料を参照の上、所轄の電力会社にご相談の上、指示に従ってください。

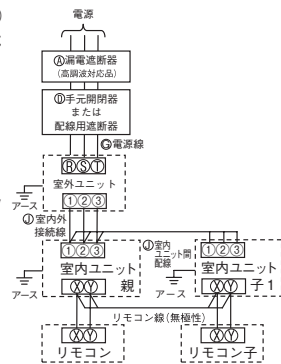


### ツイン接続の結線

- ①親・子室内ユニット間は端子台①②③及びXYの同一番号間を接続してください。
- ②室内基板上のロータリースイッチ SW1, SW2 により、“00”～“15”から設定してください。同一冷媒系統子機は親機とアドレス No. を合わせてください。
- ③子室内ユニットは基板上のディップスイッチ SW5 により子 1 に設定してください。

室内ユニットの親・子設定方法（工場出荷時|親|設定）

室内ユニット	親	子1
室内基板 SW	SW5-1	SW5-2
	OFF	OFF
	OFF	ON



## ②室内ユニットのアドレス機種容量確認方法

- 電源投入後、接続されている室内ユニットの機種容量とアドレスがリモコンに表示されることを必ず確認してください。

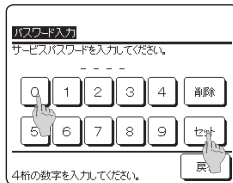
（アドレス確認はシングル接続を除く）

eco タッチリモコン (RC-DX3B) の場合



- 1 メニューをタッチする。

メニュー画面に切り換わります。

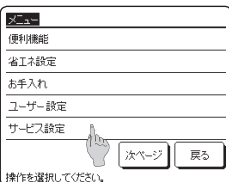


- 4 サービスパスワードを入力する。
- 5 セットをタッチする。

サービス・メンテナンスの画面に切り換わります。

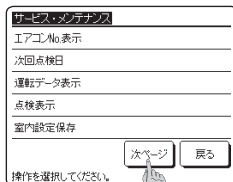


- 8 接続されている室内ユニットのアドレスNo.（室内機No.）と機種容量（容量）が表示されます。

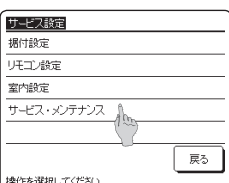


- 2 サービス設定をタッチする。

サービス設定画面に切り換わります。

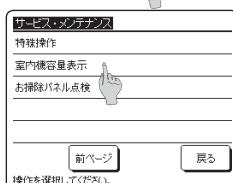


- 6 次ページをタッチする。



- 3 サービス・メンテナンスをタッチする。

パスワード入力画面に切り換わります。



- 7 室内機容量表示をタッチする。

※ 室外ユニット FDCVP2244H 室内ユニット FDFZP1605SA 2 台接続の場合の例



③リモコンからの操作・設定

A：取扱説明書を参照ください。

B：据付工事説明書を参照ください。

C：インターネットよりユーティリティソフトを配信中です。

設定および表示項目		詳細内容	ECO タッチ
1. リモコンネットワーク			
1	複数室内機制御	リモコン 1 台 (リモコンネットワーク内) に最大 16 台室内機を接続制御できます。 室内機側にアドレスを設定します。	B
	親子リモコン設定	リモコンネットワーク内に 2 個のリモコン ( 含むワイヤレスリモコン ) を接続できま す。片側を「親」とし、片側を「子」として設定します。	
2.TOP 画面・SW 操作			
1	メニュー	制御・設定・詳細設定等の項目を追加します。	A
2	運転モード	冷房・暖房・送風・自動・除湿を設定します。	A
3	設定温度	室温を 0.5℃単位で設定します。	A
4	風向	風向を設定します。	A
5	風量	風量を設定します。	A
6	タイマー設定	タイマー運転を設定します。	A
7	運転／停止 SW	運転を開始します。／停止します。	A
8	F1 スイッチ	F1 スイッチの割付られた機能で運転、操作を行います。	A
9	F2スイッチ	F2 スイッチの割付られた機能で運転、操作を行います。	A
10	言語切換	リモコンに表示する言語を選択します。 選択できる言語は下記です。 英語／日本語 ドイツ語／フランス語／スペイン語／イタリア語／オランダ語／ トルコ語／ポルトガル語／ロシア語／ポーランド語／中国語	A
3. 便利機能			
1	タイマー設定	時間入タイマー 停止後、運転させたい時間を設定します。 ・1 ～ 12 時間の範囲を 1 時間単位で設定可能です。 ・運転開始時の運転モード・設定温度・風量を設定できます。	A
		時間切タイマー 運転後、停止させたい時間を設定します。 ・1 ～ 12 時間の範囲を 1 時間単位で設定可能です。	A
	時刻入タイマー	運転開始時刻を設定します。 ・設定時刻は 5 分単位で設定可能です。 ・1 回のみ／毎日の切換が可能です。 ・運転開始時の運転モード・設定温度・風量を設定できます。	A
	時刻切タイマー	運転停止時刻を設定します。 ・設定時刻は 5 分単位で設定可能です。 ・1 回のみ／毎日の切換が可能です。	A
	タイマー設定内容確認		A
	おこのみ設定 管理者パスワード	おこのみ設定運転で使用する運転モード、設定温度、風量、風向を設定します。 おこのみ設定 1、おこのみ設定 2 のそれぞれに設定が可能です。	A
3	ウィークリータイマー	1 週間の入タイマーまたは切タイマーを設定します。 ・1 日最大 8 パターンまで設定可能です。 ・設定時刻は 5 分単位で設定可能です。 ・祭日および臨時休業など、休日設定が可能です。 ・運転開始時の運転モード・設定温度・風量を設定できます。	A
4	るす番運転	お部屋を留守にすると、お部屋は著しく高温 / 低温にならないように温度を保ちます。 ・外温と制御温度により冷房 / 暖房を行います。 ・設定温度、風量の設定が可能です。	A
5 換気		換気の ON/OFF 操作を行います。 [メニュー]⇒[サービス設定]⇒[リモコン設定]⇒[換気設定]の設定が必要です。 ・換気設定を「単独操作」に設定した場合、換気機器の運転 / 停止ができます。	A
6 言語切換設定		リモコンに表示する言語を選択します。 ・選択できる言語は下記です。 英語／日本語 ドイツ語／フランス語／スペイン語／イタリア語／オランダ語 / トルコ語 / ポルトガル語 / ロシア語 / ポーランド語 / 中国語	A
7	室外静音設定	室外ユニットの静音性を優先して運転します。 ・室外静音運転の開始・停止を設定します。	A
8	見てみて	室内温度、室外温度、運転時間、消費電力量を表示します。 ・室内ユニット・室外ユニットの組合せによっては表示できない場合があります。	A
9	消費電力量表示	今日、今週、今年の消費電力量をグラフで表示します。 昨日、先週、昨年と比較することができます。 ・室内ユニット・室外ユニットの組合せによっては表示できない場合があります。	A
4. 省エネ設定		管理者パスワード	
1	切忘れ防止タイマー	運転を開始してから停止するまでの時間を設定します。 ・設定時間は 30 ～ 240 分 (10 分単位) まで選択可能です。 ・設定「有効」の場合、毎回、タイマーが作動します。	A

設定および表示項目			詳細内容	eco タッチ	
2	ピークカットタイマー		能力を制限する運転の開始時刻と停止時刻、能力制限率を設定します。 ・ 1 日最大 4 パターンまで設定可能です。 ・ 設定時刻は 5 分単位で設定可能です。 ・ 能力制限率は 0,40 ～ 80% (20%単位) から選択可能です。 ・ 祭日および臨時休業など、休日設定が可能です。	A	
3	設定温度自動復帰		設定時刻後に設定した温度に戻ります。 ・ 暖房モード / 冷房モード他、各々設定可能です。 ・ 設定時間は 20 ～ 120 分 (10 分単位) まで設定可能です。 ・ 設定時刻は 10 分単位で設定可能です。	A	
4	人感センサー制御		人感センサーを使用の場合、パワーコントロールとオートオフの有効／無効を設定します。	A	
5. お手入れ					
1	フィルタサイン リセット	フィルタサインの解除 次回清掃日の設定	フィルターサインの解除を行います。 次回清掃日の設定を行います。	A A	
	6. ユーザ設定				
1	初期設定	時刻設定	現在の日付・時刻を設定及び修正を行います。 ・ 80 時間以内の停電の場合、内蔵バックアップ電源の働きにより時計は動き続けます。	A	
		時刻表示設定	時刻表示のあり／なし、12 H／ 24 H、AM/PM 位置、を設定します。	A	
		サマータイム補正	現在時刻に対し、＋ 1 時間の補正を行います。	A	
		コントラスト調整	液晶の濃度の調整を行います。	A	
		バックライト	バックライトの有効／無効、点灯時間を設定します。	A	
		ブザー音	タッチパネル操作時のブザー音のあり／なしを設定します。	A	
		運転ランプ輝度	運転ランプの輝度の調整を行います。	A	
2	管理者設定	操作制限設定	・ 操作の許可 / 禁止を設定します。 [ 運転 / 停止 ] [ 設定温度切換 ] [ 運転モード切換 ] [ 風向切換 ] [ 風量切換 ] [ ハイパワー運転 ] [ 省エネ運転 ] [ 見てみて ] [ タイマー設定 ] [ 消費電力量表示 ] ・ 操作時の管理者パスワード要求を設定します。 [ ウィークリータイマー設定 ] [ 言語切換設定 ]	A	
		管理者パスワード			
		室外静音 タイマー	室外ユニットの静音性を優先して運転する時間帯を設定します。 ・ 静音運転開始時刻と終了時刻を設定可能です。 ・ 設定時刻は 5 分単位で設定可能です。	A	
		設定温度範囲	設定温度範囲を制限します。 ・ 運転モードによる温度範囲の制限が可能です。	A	
		温度設定刻み切換	設定温度の刻み (0.5℃ / 1.0℃) を設定します。	A	
		設定温度表示切換	設定温度の表示の仕方を切り換えます。	A	
		リモコン表示設定	リモコン名称、室内ユニット名称を登録します。 室温表示のあり／なしを設定します。 点検コード、暖房準備、除霜運転中、自動冷暖の表示、リモコン・室温・外 温表示のあり／なしを設定します。	A	
		管理者パスワード 変更	管理者パスワードの変更を行います。 管理者パスワードのリセットを行います。	A B	
		スイッチ機能変更	F1、F2 スイッチの機能を設定します。 設定できる機能 [ ハイパワー運転 ] [ 省エネ運転 ] [ 室外静音制御 ] [ るす番運転 ] [ おこのみ設定運転 1 ] [ おこのみ設定運転 2 ] [ フィルタサインリセット ] [ 消費電力量表示 ]	A	
7. サービス設定					
1	据付設定	据付日登録	据付日を登録した場合、点検表示を行います。	B	
		サービスパスワード	リモコンに連絡先を登録することができます。 ・ 連絡先を半角 26 文字相当以内で登録できます。 ・ 連絡先 TEL 番号を 13 文字以内で登録できます。	B	
		試運転	試運転の開始／停止を制御できます。	B	
		冷房試運転	設定 5℃ 30 分間運転します。		
		バックアップ制御	1 台のリモコンに室内ユニット 2 台 (2 グループ) は接続されている時にローテー ション運転、キャパシティバックアップ運転、フォルトバックアップ運転の有効／ 無効が設定できます。	B	
		人感センサー設定	リモコンに接続された室内機の人感センサー検知の有効／無効を設定します。 無効の場合は、省エネ設定の人感センサー制御を行うことができません。	B	
	2	リモコン設定	リモコン親子設定	リモコン親子設定の変更ができます。	B
		サービスパスワード	吸込センサー 制御	1 台のリモコンに複数室内ユニットが接続されている場合、サーモ判定に用いる 吸込センサーを選択できます。 ・ 個別 / 親機 / 平均の選択が可能です。	B

設定および表示項目		詳細内容	eco タッチ		
2	リモコン設定	リモコンセンサーに切り替えるモードを設定できます。 冷房／暖房で切替可能です。	B		
	サービスパスワード	リモコンセン サー補正	リモコンセンサー検知温度を補正できます。 冷房／暖房 別々に補正可能です。	B	
		運転モード選択	各運転モード毎に有効／無効を設定できます。	B	
		設定温度単位	設定温度の単位を設定します。 ・℃／℉の選択が可能です。	B	
		ファン速度	ファン速度の選択が可能です。	B	
		外部入力設定	1 つのリモコンに複数室内ユニットが接続された場合、CnT 入力の適用範囲が 設定されます。	B	
		換気設定	換気ユニット組合せ制御が設定できます。	B	
		停電補償	停電復帰した場合の制御内容を設定できます。	B	
		設定温度自動設定	設定温度自動の有効／無効を選択できます。	B	
		風量自動設定	風量自動の有効／無効を選択できます。	B	
		3	室内設定	風速設定	室内ユニットの風量タップを設定します。
	サービスパスワード	フィルタサイン	フィルタサイン点灯タイマーの設定が換えられます。	B	
外部入力 1 設定		外部入力 1 の制御内容を換えられます。	B		
外部入力 1 方式切換		外部入力 1 の信号方式を換えられます。	B		
外部入力 2 設定		外部入力 2 の制御内容を換えられます。	B		
外部入力 2 方式切換		外部入力 2 の信号方式を換えられます。	B		
暖房室温補正		暖房サーモ判定値を 0 ～ +3℃の範囲で補正できます。	B		
吸込温度補正		吸込センサー検知温度を± 2℃の範囲で補正できます。	B		
冷房ファン制御		冷房サーモ OFF 時のファン制御を変更できます。	B		
暖房ファン制御		暖房サーモ OFF 時のファン制御を変更できます。	B		
フロスト防止温度		冷房中室内ユニットの凍結防止制御の判定温度を変更できます。	B		
フロスト防止制御		冷房中室内ユニットの凍結防止制御作動後のファンタップアップを変更できます。	B		
冷房ファン残留運転		冷房停止・冷房サーモ OFF 後のファン残留運転を設定できます。	B		
暖房ファン残留運転		暖房停止・暖房サーモ OFF 後のファン残留運転を設定できます。	B		
暖房ファン間欠		暖房停止・暖房サーモ OFF ファン残留運転後のファン運転を設定できます。	B		
送風サーモ運転		送風時のサーキュレータ運転を設定できます。	B		
運転モード自動設定		運転モード自動判定方法を 3 種類から選択できます。	B		
サーモ判定切換		サーモ判定を室外温度で補正することができます。	B		
風量自動切換		風量自動運転における自動切換範囲を設定できます。	B		
室内過負荷 アラーム		運転開始 30 分後、設定温度と吸込温度の差が過負荷アラームで設定した温 度差以上ある場合、外部出力 (CNT-5) から過負荷アラーム信号を送信します。	B		
外部出力設定		外部出力 1 ～ 4 に割り当てる機能を換えられます。	B		
4	サービス・ メンテナンス	エアコンNo. 表示	リモコン 1 台に 16 台の室内ユニットを接続できます。個別送風運転で確認できます。	B	
		次回点検日	次回の点検日を登録することができます。点検日に連絡先の表示をします。	A B	
	サービスパスワード	運転データ表示	室内ユニット＋室外ユニットの運転データをモニターすることができます。	B	
		点検表示			
		異常履歴表示	過去の異常履歴 (点検コード・発生時間) を表示します。	B	
		異常時運転データ表示	直前の異常発生時の運転データを表示します。		
		異常時運転データ消去	異常時運転データが消去されます。		
		定期点検リセット	定期点検タイマーをリセットします。		
		室内設定保存	接続室内ユニット基板設定内容をリモコンへバックアップすることができます。	B	
		特殊操作	[室内アドレス消去][CPUリセット][初期化設定][タッチパネル調整] の操作ができます。	B	
室内機容量表示	リモコンに接続されている室内アドレス番号とその容量を表示します。	B			
8. 困ったときは・・・					
1	連絡先表示	登録した連絡先・TEL番号、サービスフロントセンターフリーコールを表示します。 QR コードでインターネット接続⇒点検コード内容を検索できます。	A		
		Q & Aが表示されます。	A		
2	サービスを依頼される前に Q & A				
9. 点検表示					
	点検表示確認	異常発生時の表示	A		
10. パソコン接続					
	USB 接続	ウィークリータイマー設定他、パソコンから一括設定ができます。	C		
◆組合せ室内・室外ユニットの仕様により、本内容が機能しない場合もあります。					

◆組合せ室内・室外ユニットの仕様により、本内容が機能しない場合もあります。

## ④電源投入初期設定

電源投入時の表示に沿って親子リモコン設定を行います。

- ・親子が設定されていない場合⇒(1)
- ・親子が設定されている場合 ⇒(2)

### (1) 親子が設定されていない場合

①⇒②親子入力画面を表示します。

枠で囲まれた **親** **子** どちらかをタッチしてください。初期設定作業を開始します。

誤ってタッチした場合は、初期設定作業が終了後に設定変更することができます。(⑥リモコン機能設定④) 室内ユニット1台または、1グループに、2個のecoタッチリモコンが接続されている場合、1個目を **親** で設定開始すると2個目は自動で **子** になります。

①スタート画面

リモコンバージョン: 0000-000  
プログラムID: 000

②親子設定入力画面

親、子どちらかを設定して下さい。  

親子

③室内機検索中

室内機検索中  
50 %

④室内機情報取得中

室内機情報取得中  
終了目安: 約 1230秒

⑤TOP画面

16:14(月)メニュー  
冷房 設定温度 23.0℃ 風向  
タイマー設定 停止しています。 F1ハイパワー運転 F2省エネ運転

⑥スタート画面

リモコンバージョン: 0000-000  
プログラムID: 000

⑦親子設定入力画面

親、子どちらかを設定して下さい。  

親子

⑧TOP画面

16:14(月)メニュー  
冷房 設定温度 23.0℃ 風向  
タイマー設定 停止しています。 F1ハイパワー運転 F2省エネ運転

### ご注意

リモコン1台の場合は、**親** をタッチしてください。  
初期状態では、どちらか選択されるまで、待ち続けます。

親を選択した場合 ③⇒④⇒⑤の順で画面が遷移します。  
子を選択した場合 ①⇒⑧⇒⑤の順で画面が遷移します。

通信が10分間確定しない場合、赤LEDが点滅します。

### (2) リモコンの親子設定がされている場合

⑥設定継続確認画面

電源立上げ前の設定を継続しますか?  
はい いいえ

⑦初期化確認画面

リモコンの設定を全て初期化しますか?  
はい いいえ

⑧初期設定中画面

リモコン初期設定中

はい ⑧⇒⑤の順で画面が遷移します。

いいえ ⑦に画面が遷移します。  
表示が15秒間タッチされない場合は **はい** 継続を認識して⑤画面に変わります。

はい ①⇒②の順で画面が遷移します。

いいえ ⑥に画面が遷移します。  
初期化すると出荷状態に戻ります。

## ⑤据付設定 試運転

TOP画面 **メニュー** ⇒ **サービス設定** ⇒ **据付設定** ⇒ **サービスパスワード**

①据付設定メニュー#1

据付設定  
据付日登録 ③  
サービス情報入力 ④  
試運転 ⑦  
ダクト機静圧補正  
自動アドレス変更  
次ページ 戻る

②据付設定メニュー#2

据付設定  
親室内機アドレス設定  
バックアップ制御 ⑨  
人感センサー設定 ⑫  
グリル昇降操作  
前ページ 戻る

③据付日登録

据付日登録  
年 月 日  
2010/1/1  
年月日を設定してください。 セット 戻る

選択した画面に移ります。

選択した画面に移ります。

▲ ▼ で設定してください。  
**セット** で登録されます。

④サービス情報入力

サービス情報入力  
連絡先名 ⑤  
連絡先TEL ⑥  
戻る

⑤連絡先名登録

連絡先名 セット  
数字 英字 キリル文字  
カナ 漢字 漢字  
A B C D E F G H I  
J K L M N O P Q R  
削除 次 戻る  
名称を入力してください。

⑥連絡先TEL登録

連絡先TEL  
0 1 2 3 - 4 5 6 - 7 8 9 9  
削除 セット  
電話番号を入力してください。 戻る

お客様がサービスを依頼される際の連絡先を入力してください。

連絡先名を半角26文字相当以内で入力し、**セット** ボタンをタッチしてください。数字、英字、カナ、漢字、キリル文字、中国文字での入力ができます。

連絡先電話番号を13文字以内で入力し、**セット** ボタンをタッチしてください。

⑦試運転

試運転  
冷房試運転 ⑧  
ドレンポンプ試運転  
周波数固定運転  
お掃除試運転  
戻る

⑧冷房試運転

冷房試運転  
開始  
開始をタッチすると冷房5℃で30分間試運転します。30分経過及び、TOP画面で運転/停止、運転モード、設定温度を変更すると試運転を終了します。  
戻る

選択した画面に移ります。

冷房の停止中に操作可能です。室温が低く冷房試運転ができない場合、室温設定を30分間5℃に下げて運転します。

⑤据付設定 試運転（つづき）

⑨バックアップ制御

バックアップ制御

ローテーション   ⑩

キャパシティバックアップ   ⑪

フォルトバックアップ

操作を選択してください。

- 1 台のリモコンに室内ユニット 2 台（2 グループ）が接続されている時に、以下の制御が可能です。
1. ローテーション：2 台の室内ユニットが設定した時間毎に、交互に運転します。
  2. キャパシティバックアップ：設定温度と室温の温度差により、室内ユニットの運転台数を 1 台⇄2 台へ切り換えます。
  3. フォルトバックアップ：室内ユニット 2 台中 1 台が運転している場合、運転している室内ユニットが異常停止すると、もう 1 台の室内ユニットが運転を開始します。
- /  を選択し（ をタッチすると  に変わります。）、 ボタンをタッチすると、設定内容が確定します。

⑩ローテーション詳細設定

運転切換時間設定

時間

▲▼で時間を選択してください。

ローテーションの運転を切り換える時間を設定します。  
1 ～ 999 時間の間で 1 時間刻みで設定可能です。  
時間切換後、 で仮設定してください。仮設定後バックアップ制御画面に戻って  をタッチしてください。

⑪キャパシティバックアップ詳細設定

運転開始温度差設定

°C

▲▼で温度の変更ができます。

キャパシティバックアップの 1 台⇄2 台を切り換える設定温度と室温の温度差を設定します。  
2 ～ 5°C の間で 1°C 刻みで設定可能です。温度切換後、 で仮設定してください。仮設定後バックアップ制御画面に戻って  をタッチしてください。

バックアップ制御の制約条件

1. 運転モードが「自動」の場合、バックアップ制御はできません。運転モードが「自動」に設定された空調機にバックアップ制御を設定すると、運転モードは自動的に「冷房」モードに切り換わります。
2. ローテーション制御を設定した場合は、自動的にフォルトバックアップ制御も有効に設定されます。この場合、フォルトバックアップ制御のみを無効にすることはできません。ローテーション運転を無効にした場合は、フォルトバックアップ制御も無効になります。
3. キャパシティバックアップ制御を設定した場合は、自動的にフォルトバック制御も有効に設定されます。この場合、フォルトバックアップ制御のみを無効にすることはできません。キャパシティバックアップ制御を無効にした場合は、フォルトバックアップ制御も無効になります。
4. フォルトバック制御を単独で有効に設定することも可能です。
5. るす番運転、ウォームアップ設定、外部入力設定は、バックアップ制御と同時に設定することはできません。
6. ローテーション運転制御または、フォルトバックアップ制御設定時には、設定対象となっている室内機 2 台（2 グループ）の内、どちらか一方のみが運転します。両方同時に運転することはありません。
7. いずれの制御も、室内アドレスの若い室内機が先に運転開始します。

⑤据付設定 試運転（つづき）

⑫人感センサー設定

人感センサー

設定を選択してください。

リモコンに接続されている室内機の人感センサーの  /  かを選択します。

- ・ 人感センサーを採用のお客様は上記の設定を行ってください。人の活動量を検知させたい室内機を有効にしてください。人感センサー設定が無効の場合には、人の活動量を検知しないため人感センサー制御（パワーコントロール、オートオフ）を行いません。
- ・ 4 形以前の室内機は、人感センサー設定を有効にできません。人感センサー設定をタッチすると、「操作無効です」と表示されます。



⑥リモコン機能設定

お知らせ：停止中のみ操作可能

TOP画面   メニュー   ⇒   サービス設定   ⇒   リモコン設定   ⇒   サービスパスワード

①リモコン設定メニュー# 1

リモコン設定

リモコン親子設定   < 4

吸込センサー制御   < 5

リモコンセンサー   < 6

リモコンセンサー補正   < 9

運転モード選択   < 12

次ページ   戻る

操作を選択してください。

②リモコン設定メニュー# 2

リモコン設定

温度設定単位   < 13

ファン速度   < 14

外部入力設定   < 15

上下ルーバ制御

左右ルーバ制御

前ページ   次ページ   戻る

操作を選択してください。

③リモコン設定メニュー# 3

リモコン設定

換気設定   < 16

停電補償   < 17

設定温度自動設定   < 18

風量自動設定   < 19

前ページ   戻る

操作を選択してください。

選択した画面に移ります。

④リモコン親子設定

リモコン親子設定

親

子

戻る

操作を選択してください。

リモコンの親子設定を変更する場合に操作します。

⑤吸込センサー制御

吸込センサー制御

個別

親機

平均

戻る

操作を選択してください。

- 室内ユニットの吸込センサーの検知温度によりサーモ判定を行います。
- 1 台のリモコンに複数室内ユニットが接続されている場合、サーモ判定に用いる吸込温度センサーを選択できます。
1. **個別**：各々の室内ユニットの吸込温度でサーモ判定します。ブルーラル接続されている場合はブルーラル親機の吸込温度を基準とします。
  2. **親機**：接続されている室内ユニットの中で、アドレスの若い室内ユニットの吸込温度でサーモ判定します。  
1 台のリモコンに、ブルーラル接続が複数接続されている場合は、ブルーラル親機間でアドレスが若い室内ユニットの吸込温度を基準とします。
  3. **平均**：接続されている室内ユニットの吸込温度を平均し、サーモ判定します。

⑥リモコン機能設定（つづき）

⑥リモコンセンサー

リモコンセンサー

無効

有効

有効(暖房のみ)

有効(冷房のみ)

戻る

操作を選択してください。

- 室内ユニット本体吸込センサーをリモコン側に変更できます。
- 無効** 室温表示は、本体側センサーになります。⇒ ⑦
- 有効** 室温表示は、リモコン側センサーになります。⇒ ⑧
- 有効(暖房のみ)** 室温表示は、暖房中のみリモコン側センサーになります。
- 有効(冷房のみ)** 室温表示は、暖房以外で運転中にリモコン側センサーになります。

⑦ TOP 画面 (本体側センサーの場合)

会議室  
16:00 (月)

メニュー

自動

設定温度  
23.0℃  
室温 22℃

風向

タイマー設定

運転中です。

F1:ハイパワー運転    F2:省エネ運転

リモコンセンサー無効時は、TOP画面で“室温○℃”と表示されます。

⑧ TOP 画面 (リモコン側センサーの場合)

会議室  
16:00 (月)

メニュー

自動

設定温度  
23.0℃  
室温 (リモコン) 22℃

風向

タイマー設定

運転中です。

F1:ハイパワー運転    F2:省エネ運転

リモコンセンサー有効時は、TOP画面で“室温 (リモコン) ○℃”と表示されます。

⑨リモコンセンサー補正

リモコンセンサー補正

冷房時補正   < 10

暖房時補正   < 11

戻る

操作を選択してください。

リモコンセンサー検知温度の補正ができます。

**冷房時補正** ⇒ ⑩

**暖房時補正** ⇒ ⑪

⑩冷房時補正

冷房時補正

▲▼で補正温度の変更ができます。

+1℃

▲

▼

セット

戻る

冷房運転中のリモコンセンサー検知温度補正ができます。

－3～＋3の範囲で設定します。

⑪暖房時補正

暖房時補正

▲▼で補正温度の変更ができます。

0℃

▲

▼

セット

戻る

暖房運転中のリモコンセンサー検知温度補正ができます。

－3～＋3の範囲で設定します。

⑫運転モード選択

運転モード選択

自動   無効   有効

冷房   無効   有効

暖房   無効   有効

除湿   無効   有効

設定を選択してください。   セット   戻る

各運転モード毎に**有効**・**無効**を設定可能です。

冷房または暖房を無効にした場合、自動も無効になります。

⑥リモコン機能設定（つづき）

⑬温度設定単位

温度設定単位

℃

°F

操作を選択してください。戻る

設定温度の単位を設定します。

⑭ファン速度

ファン速度

4速

3速

2速(急-弱)

2速(急-強)

1速

操作を選択してください。戻る

ファン速度選択の変更が可能です。  
室内ユニットにより対応できない場合があります。

⑮外部入力方式

外部入力設定

個別

全台

操作を選択してください。戻る

1つのリモコンに複数室内ユニットが接続された場合、運転／停止に対してCNTの入力の適用範囲を設定できます。  
[個別] CNT入力された室内ユニットのみに適用されます。  
[全台] リモコンが接続されている室内ユニット全てに適用されます。

⑯換気設定

換気設定

無効

連動

単独操作

操作を選択してください。戻る

換気機器組合せの設定ができます。  
[無効] 接続無し。  
[連動] エアコン運転／停止に連動し、換気出力（CNT）に出力します。  
[単独操作] メニューから換気を選択により換気単独で運転／停止出力を行います。

⑰停電補償

停電補償

有効

無効

操作を選択してください。戻る

運転中に停電した場合、  
[有効] 停電復旧（電源投入後の制御終了）しだい、停電前の状態に戻ります。  
[無効] 停電復旧後、停止します。

⑱設定温度自動設定

設定温度自動設定

有効

無効

操作を選択してください。戻る

[有効] 室温設定画面から自動の選択が可能になります。  
[無効] 室温設定の画面上に自動の選択スイッチが表示されません。

⑲風量自動設定

風量自動設定

有効

無効

操作を選択してください。戻る

[有効] 風量設定画面から自動の選択が可能になります。  
[無効] 風量設定の画面上に自動の選択スイッチが表示されません。

⑦室内機能設定 お知らせ：停止中のみ操作可能

TOP画面 [メニュー] ⇒ [サービス設定] ⇒ [室内設定] ⇒ [サービスパスワード]

①室内機選択

室内機選択

メニュー

000

001

002

003

004

005

006

007

全台

次ページ

戻る

室内機No.を選択してください。

複数室内ユニットを接続の場合、接続された室内ユニットが表示されます。  
[000]～[015] 各室内ユニット毎に個別設定されます。  
[全台] 全台同一設定されます。

②室内機選択 2

室内機選択

メニュー

008

009

010

011

012

013

014

015

全台

前ページ

戻る

室内機No.を選択してください。

③データ読込中

データ読込中です。しばらくお待ちください。

室内ユニットからデータ受信後に  
④に画面が切りかわります

④室内設定メニュー#1

室内設定

風速設定 ←9

フィルターサイン ←10

外部入力1設定 ←11

外部入力1方式切換 ←13

外部入力2設定 ←14

次ページ

戻る

操作を選択してください。

選択した画面に移ります。

⑤室内設定メニュー#2

室内設定

外部入力2方式切換 ←16

暖房室温補正 ←17

吸込温度補正 ←18

冷房ファン制御 ←19

暖房ファン制御 ←20

前ページ

次ページ

戻る

操作を選択してください。

⑥室内設定メニュー#3

室内設定

フロスト防止温度 ←21

フロスト防止制御 ←22

ドレンポンプ運転

冷房ファン残留運転 ←23

暖房ファン残留運転 ←24

前ページ

次ページ

戻る

操作を選択してください。

⑦室内設定メニュー#4

室内設定

暖房ファン間欠 ←25

送風サーモ運転 ←26

外調機設定

運転モード自動設定 ←27

サーモ判定切換 ←38

前ページ

次ページ

戻る

操作を選択してください。

⑧室内設定メニュー#5

室内設定

風量自動切換 ←42

室内過負荷アラーム ←43

外部出力設定 ←44

前ページ

戻る

操作を選択してください。

⑩フィルターサイン

フィルターサイン

表示なし

設定1

設定2

設定3

設定4

操作を選択してください。

戻る

フィルターサイン点灯時間を設定します。

	フィルターサイン設定時間
表示なし	無し
設定 1	180Hr
設定 2	600Hr
設定 3	1,000Hr
設定 4	1,000Hr後運転停止

⑨風速設定

風速設定

標準

設定1

設定2

操作を選択してください。戻る

室内ユニットの風速設定を設定します。詳細は、技術資料を参照ください。



⑦室内機能設定（つづき）

⑪外部入力 1 設定 #1

外部入力1設定

運転/停止

許可/禁止

冷房/暖房

緊急停止

設定温度シフト

操作を選択してください。

次ページ

戻る

⑫外部入力 1 設定 #2

外部入力1設定

強制サーモOFF

一時停止

サイレントモード

操作を選択してください。

前ページ

戻る

⑬外部入力 1 方式

外部入力1方式切換

レベル入力

パルス入力

操作を選択してください。

戻る

室内ユニット CNT 入力時の制御を設定します。  
詳細は、技術資料を参照ください。

室内ユニットCNTへの入力信号方式を設定します。  
詳細は、技術資料を参照ください。

外部入力 2 を装備している室内ユニットと組合わせた場合に操作できます。詳細は、技術資料を参照ください。

⑭外部入力 2 設定 #1

外部入力2設定

運転/停止

許可/禁止

冷房/暖房

緊急停止

設定温度シフト

操作を選択してください。

次ページ

戻る

⑮外部入力 2 設定 #2

外部入力2設定

強制サーモOFF

一時停止

サイレントモード

操作を選択してください。

前ページ

戻る

⑯外部入力 2 方式

外部入力2方式切換

レベル入力

パルス入力

操作を選択してください。

戻る

⑰暖房室温補正

暖房室温補正

▲▼で補正温度の変更ができます。

+2.0℃

▲

▼

セット

戻る

⑱吸込温度補正

吸込温度補正

▲▼で補正温度の変更ができます。

+1.5℃

▲

▼

セット

戻る

⑲冷房ファン制御

冷房ファン制御

弱風

設定風量

間欠

停止

操作を選択してください。

戻る

暖房サーモ判定温度を補正します。  
0℃／+1℃／+2℃／+3℃

本体吸込センサー検知温度を補正します。  
-2℃／-1.5℃／-1℃／0℃／+1℃／+1.5℃／+2℃

冷房サーモ OFF 中のファン速度設定  
弱風 弱風運転  
設定風量 サーモ ON 中と同風量  
間欠 2分Lo (ULo)運転／5分停止  
停止 停止

⑦室内機能設定（つづき）

⑳暖房ファン制御

暖房ファン制御

弱風

設定風量

間欠

停止

操作を選択してください。

戻る

㉑フロスト防止温度

フロスト防止温度

温度 低

温度 高

操作を選択してください。

戻る

㉒フロスト防止制御

フロスト防止制御

有効

無効

操作を選択してください。

戻る

暖房サーモ OFF 中のファン速度を設定します。  
弱風 弱風運転  
設定風量 サーモ ON 中と同風量  
間欠 2分Lo (ULo)運転／5分停止  
停止 停止

フロスト防止制御温度の切換ができます。

フロスト防止制御後、ファン速度が有効 アップします。  
無効 変化しません。

㉓冷房ファン残留運転

冷房ファン残留運転

なし

設定1

設定2

設定3

操作を選択してください。

戻る

㉔暖房ファン残留運転

暖房ファン残留運転

なし

設定1

設定2

設定3

操作を選択してください。

戻る

㉕暖房ファン間欠

暖房ファン間欠

非連動

20分停止5分送風

5分停止5分送風

操作を選択してください。

戻る

冷房運転、停止またはサーモ OFF 後のファン残留運転時間を設定します。  
なし ファン残留運転なし  
設定 1 0.5 時間  
設定 2 2 時間  
設定 3 6 時間  
※残留時間が異なる場合があります。

暖房運転、停止またはサーモ OFF 後のファン残留運転時間を設定します。  
なし ファン残留運転なし  
設定 1 0.5 時間  
設定 2 2 時間  
設定 3 6 時間

暖房運転、停止またはサーモOFF後のファン制御を設定します。  
非連動 停止  
20分停止 5分送風 25分毎に条件チェックして 5 分送風  
5分停止 5分送風 10分毎に条件チェックして 5 分送風

㉖送風サーモ運転

送風サーモ運転

無効

有効

操作を選択してください。

戻る

サーキュレーター運転として使用する場合  
無効 送風時連続運転  
有効 送風時リモコンと本体の温度差を見て送風運転／停止します。

## ⑦室内機能設定（つづき）

②⑦運転モード自動設定

運転モード自動設定

自動1・2・3切換 ←②⑧

自動1関連設定 ←②⑨

自動2関連設定 ←③⑩

自動3関連設定 ←③⑪

戻る

操作を選択してください。

②⑧自動1・2・3切換

自動1・2・3切換

自動1

自動2

自動3

戻る

操作を選択してください。

- 自動1** 設定温度と室温の温度差で、冷房／暖房が切替わります。
- 自動2** 設定温度と室温の温度差及び外気温度で冷房／暖房が切替わります。
- 自動3** 室温及び外気温度で、冷房／暖房が切替わります。

運転モード自動での冷房／暖房切換方式を3方式から選択できます。各方式の条件を設定をします。

②⑨自動1関連設定

自動1関連設定

冷房切換温度 ←③④

暖房切換温度 ←③⑤

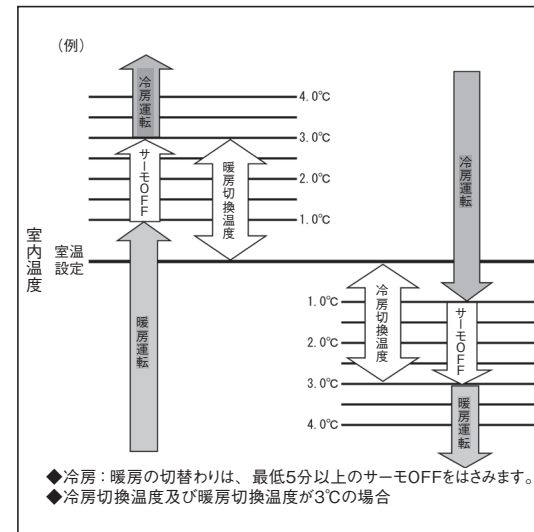
戻る

操作を選択してください。

冷房／暖房の切換温度を設定します。  
切換温度は1～4℃の範囲で設定できます。

設定温度－冷房切換温度  
＜室内吸込温度の場合  
⇒運転モード：冷房

設定温度＋暖房切換温度  
＞室内吸込温度の場合  
⇒運転モード：暖房



③⑩自動2関連設定

自動2関連設定

冷房切換温度 ←③⑫

暖房切換温度 ←③⑬

冷房室外温度 ←③⑭

暖房室外温度 ←③⑮

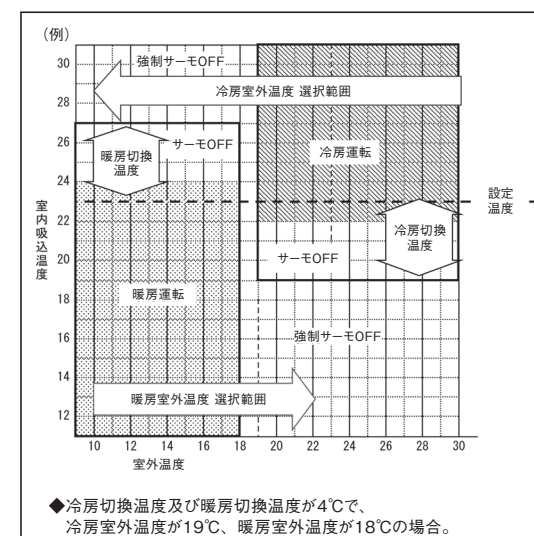
戻る

操作を選択してください。

冷房／暖房の切換温度、冷房／暖房室外温度を設定します。

「設定温度－冷房切換温度＜室内吸込温度」かつ「設定した冷房室外温度＜室外吸込温度」の場合  
⇒運転モード：冷房

「設定温度＋暖房切換温度＞室内吸込温度」かつ「設定した暖房室外温度＞室外吸込温度」の場合  
⇒運転モード：暖房



## ⑦室内機能設定（つづき）

③⑪自動3関連設定

自動3関連設定

冷房室外温度

暖房室外温度

冷房室内温度

暖房室内温度

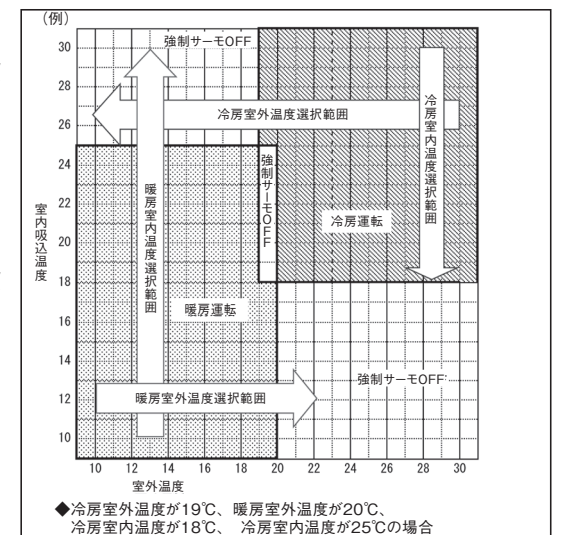
戻る

操作を選択してください。

冷房／暖房室外温度、冷房／暖房室内温度を設定します。

「設定した冷房室内温度＜室内吸込温度」かつ「設定した冷房室外温度＜室外吸込温度」の場合  
⇒運転モード：冷房

「設定した暖房室内温度＞室内吸込温度」かつ「設定した暖房室外温度＞室外吸込温度」の場合  
⇒運転モード：暖房



③⑫冷房切換温度

冷房切換温度

▲▼で補正温度の変更ができます。

3.0℃

▲

▼

セット

戻る

自動1、自動2で冷房切換温度を設定します。  
1～4℃の範囲で設定できます。

③⑬暖房切換温度

暖房切換温度

▲▼で補正温度の変更ができます。

3.0℃

▲

▼

セット

戻る

自動1、自動2で暖房切換温度を設定します。  
1～4℃の範囲で設定できます。

③⑭冷房室外温度

冷房室外温度

▲▼で補正温度の変更ができます。

18℃

▲

▼

セット

戻る

自動2、自動3で冷房室外温度を設定します。  
10～30℃の範囲で設定できます。

③⑮暖房室外温度

暖房室外温度

▲▼で補正温度の変更ができます。

20℃

▲

▼

セット

戻る

自動2、自動3で暖房室外温度を設定します。  
10～22℃の範囲で設定できます。

③⑯冷房室内温度

冷房室内温度

▲▼で補正温度の変更ができます。

22℃

▲

▼

セット

戻る

自動3で冷房室内温度を設定します。  
18～30℃の範囲で設定できます。

③⑰暖房室内温度

暖房室内温度

▲▼で補正温度の変更ができます。

24℃

▲

▼

セット

戻る

自動3で暖房室内温度を設定します。  
10～30℃の範囲で設定できます。



⑦室内機能設定（つづき）

③⑧サーモ判定切換

サーモ判定切換

通常制御/室外温度制御 ←③⑨

室外温度\_冷房補正 ←④⑩

室外温度\_暖房補正 ←④⑪

戻る

操作を選択してください。

③⑨通常制御／外気温度制御

通常制御/室外温度制御

通常制御

室外温度制御

戻る

操作を選択してください。

室温制御、サーモ ON / OFF 切換方式・条件を設定します。  
通常制御 室内温度と設定温度の差でサーモ判定をします。  
室外温度制御 室外温度±補正值と室内温度でサーモ判定します。  
室温設定は無効となります。

④⑩室外温度\_冷房補正

室外温度\_冷房補正

※室温調整設定を「室外温度により制御」に設定した場合のみ有効です

2℃

▲

▼

セット

戻る

④⑪室外温度\_暖房補正

室外温度\_暖房補正

※室温調整設定を「室外温度により制御」に設定した場合のみ有効です

3℃

▲

▼

セット

戻る

④②風量自動切換

風量自動切換

自動1

自動2

戻る

操作を選択してください。

室外温度と冷房／暖房補正值によりサーモ判定します。  
(a) 室外温度\_冷房補正：冷房中にサーモ判定します。  
室内温度＞（室外温度－冷房補正值）でサーモ ON します。  
冷房補正值は 0 ～ 10℃で設定できます。  
(b) 室外温度\_暖房補正：暖房中にサーモ判定します。  
室内温度＜（室外温度＋暖房補正值）でサーモ ON します。  
暖房補正值は 0 ～ 5℃で設定できます。

④③室内過負荷アラーム設定

室内過負荷アラーム

キャンセル

7℃

▲

▼

セット

戻る

▲▼で温度の変更ができます。

④④外部出力設定 出力先選択

外部出力設定 出力先選択

外部出力1

外部出力2

外部出力3

外部出力4

戻る

操作を選択してください。

④⑤外部出力設定 機能選択 #1

外部出力設定 機能選択

運転出力

暖房出力

コンプON出力

点検(異常)出力

冷房出力

次ページ

戻る

運転開始 30分後、設定温度と吸込温度差が過負荷アラームで設定した温度差以上ある場合、外部出力 (CNT-5) から過負荷アラーム信号を送信します。  
変更する出力先を選択後、選択した出力に割り当てる機能を選択します。  
各出力のコネクターと初期設定は下記です。  
外部出力1 CNT -2 運転出力  
外部出力2 CNT -3 暖房出力  
外部出力3 CNT -4 コンプ ON 出力  
外部出力4 CNT -5 点検 (異常) 出力  
詳細は技術資料を参照願います。

⑦室内機能設定（つづき）

④⑥外部出力設定 機能選択 #2

外部出力設定 機能選択

ファン運転出力1

ファン運転出力2

ファン運転出力3

デフロスト、油戻し出力

換気出力

前ページ

次ページ

戻る

④⑦外部出力設定 機能選択 #3

外部出力設定 機能選択

ヒータ出力

フリークーリング出力

室内過負荷アラーム出力

冷媒漏洩出力

前ページ

戻る

⑧サービス・メンテ方法

TOP画面 [メニュー] ⇒ [サービス設定] ⇒ [サービス・メンテナンス] ⇒ [サービスパスワード]

①サービス・メンテナンス メニュー

サービス・メンテナンス	
エアコンNo.表示	←③
次回点検日	←⑤
運転データ表示	←⑦
点検表示	←⑮
室内設定保存	←⑳
<div>次ページ 戻る</div>	

操作を選択してください。

選択した画面に移ります。

②サービス・メンテナンス メニュー

サービス・メンテナンス	
特殊操作	←⑳
室内機容量表示	←㉔
お掃除パネル点検	
<div>前ページ 戻る</div>	

操作を選択してください。

選択した画面に移ります。

③エアコン No. 表示

エアコンNo.表示		
室内機No.	室内機名称	室外機No.
000		
001		
002		
003		
004		
005		
006		
<div>個別送風 次ページ 戻る</div>		

8台以上接続の場合は、次ページ以降に表示がでます。室内ユニット選択後[個別送風]ボタンをタッチすると、選択した室内ユニットが送風運転します。⇒④

④個別送風運転

個別送風運転	
送風運転	<div>運転 停止</div>
<div>動作を選択してください。 戻る</div>	

**運転** 送風運転開始。  
**停止** 送風運転停止。

⑤次回点検日

次回点検日	
年	月 日
2010	1/1
<div>設定なし セット 戻る</div>	

年月日を設定してください。

次回点検日を入力すると、点検月の運転開始／停止時にメッセージが表示されます。表示は、次回点検日を更新するとリセットされます。  
[設定なし] をタッチするとメッセージは表示されません。

⑥点検メッセージ

点検メッセージ	
ご使用期間 0年7ヶ月 次回の点検 2020年10月頃 連絡先名 ミズビシ 連絡先TEL 000-000-0000 サービスフロントセンター 0120-975-365（フリーコール）	

⑦運転データ画面 #1

運転データ			
室内機	000	室外機	
項目	データ	表示	
01 運転モード	冷房	✓	
02 設定温度	28℃	✓	
03 吸込温度	26℃	✓	
04 リモコン温度	29℃		
05 室内熱交温度1	10℃		
<div>選択表示 次ページ 戻る</div>			

表示項目を6つ選択してください。

運転データが表示されます。[全更新] タッチで全データが更新されます。  
データを自動更新させて表示したい場合、6項目まで選択できます。6項目選択後、[選択表示] ボタンをタッチすると⑭の画面に変わります。

⑧運転データ画面 #2

運転データ			
室内機	000	室外機	
項目	データ	表示	
06 室内熱交温度2	10℃		
07 室内熱交温度3	10℃		
08 室内ファン速度	5速		
09 要求周波数	51.2Hz		
10 アンサー周波数	32Hz		
<div>選択表示 前ページ 次ページ 戻る</div>			

表示項目を6つ選択してください。

⑨運転データ画面 #3

運転データ			
室内機	000	室外機	
項目	データ	表示	
11 室内EEV開度	256P		
12 室内運転時間	100H		
13 吹出	21℃		
21 外気温度	22℃		
22 室外熱交温度1	29℃		
<div>選択表示 前ページ 次ページ 戻る</div>			

表示項目を6つ選択してください。

⑧サービス・メンテ方法（つづき）

⑩運転データ画面 #4

運転データ			
室内機	000	室外機	
項目	データ	表示	
23 室外熱交温度2	29℃		
24 コンプレッサ回転数	51.2Hz		
25 高圧圧力	12MPa		
26 低圧圧力	0.20MPa		
27 吐出管温度	78℃		
<div>選択表示 前ページ 次ページ 戻る</div>			

表示項目を6つ選択してください。

⑪運転データ画面 #5

運転データ			
室内機	000	室外機	
項目	データ	表示	
28 ドーム下温度	27℃		
29 電流	8A		
30 SH制御	48℃		
31 SH	48℃		
32 TDSH	48℃		
<div>選択表示 前ページ 次ページ 戻る</div>			

表示項目を6つ選択してください。

⑫運転データ画面 #6

運転データ			
室内機	000	室外機	
項目	データ	表示	
33 保護制御	No.1		
34 室外ファン速度	5速		
35 63H1	ON		
36 デフロスト	ON		
37 コンプレッサ運転時間	100H		
<div>選択表示 前ページ 次ページ 戻る</div>			

表示項目を6つ選択してください。

⑬運転データ画面 #7

運転データ			
室内機	000	室外機	
項目	データ	表示	
38 室外EEV1開度	512P		
39 室外EEV2開度	512P		
<div>選択表示 前ページ 戻る</div>			

表示項目を6つ選択してください。

⑭運転データ個別表示画面

運転データ	
運転モード	冷房
設定温度	28℃
吸込温度	29℃
リモコン温度	28℃
室内熱交温度1	10℃
室内熱交温度2	15℃
<div>戻る</div>	

選択した6つの項目を自動更新して表示します。

⑮点検表示

点検表示	
異常履歴表示	←⑰
異常時運転データ表示	←⑰
異常時運転データ消去	←㉔
定期点検リセット	←㉕
<div>戻る</div>	

操作を選択してください。

⑯異常履歴表示（例）

異常履歴表示		
時刻	室内機	異常コード
2011/01/19 PM 6:57	014	E16
2011/01/19 PM 6:57	015	E15
2011/01/19 PM 6:57	012	E14
<div>消去 戻る</div>		

異常発生日時・室内アドレス・異常コードを表示します。  
[消去] ボタンをタッチすると、異常履歴を消去します。

⑰異常時運転データ表示 #1

異常時運転データ表示		
室内機	000	異常コード E09 室外機
項目	データ	
01 運転モード	冷房	
02 設定温度	28℃	
03 吸込温度	26℃	
05 室内熱交温度1	10℃	
06 室内熱交温度2	10℃	
<div>次ページ 戻る</div>		

異常発生直前の運転データが表示されます。

⑱異常時運転データ表示 #2

異常時運転データ表示		
室内機	000	異常コード E09 室外機
項目	データ	
07 室内熱交温度3	10℃	
08 室内ファン速度	5速	
09 要求周波数	51.2Hz	
10 アンサー周波数	32Hz	
11 室内EEV開度	256P	
<div>前ページ 次ページ 戻る</div>		



⑧サービス・メンテ方法（つづき）

⑲異常時運転データ表示 #3

異常時運転データ表示

室内機	000	異常コード E09	室外機
項目	データ		
12	室内運転時間	100H	
13	吹出	21℃	
21	外気温度	22℃	
22	室外熱交温度1	29℃	
23	室外熱交温度2	29℃	

前ページ

次ページ

戻る

⑳異常時運転データ表示 #4

異常時運転データ表示

室内機	000	異常コード E09	室外機
項目	データ		
24	コンプ回転数	512Hz	
25	高圧圧力	12MPa	
26	低圧圧力	0.20MPa	
27	吐出管温度	76℃	
28	ドーム下温度	27℃	

前ページ

次ページ

戻る

㉑異常時運転データ表示 #5

異常時運転データ表示

室内機	000	異常コード E09	室外機
項目	データ		
29	電流	8A	
30	SH制御	48℃	
31	SH	3℃	
32	TDSH	48℃	
33	保護制御	No.1	

前ページ

次ページ

戻る

異常発生直前の運転データが表示されます。

㉒異常時運転データ表示 #6

異常時運転データ表示

室内機	000	異常コード E09	室外機
項目	データ		
34	室外ファン速度	5速	
35	63H1	ON	
36	デフロスト	ON	
37	コンプ運転時間	100H	
38	室外EEV1開度	512P	

前ページ

次ページ

戻る

㉓異常時運転データ表示 #7

異常時運転データ表示

室内機	000	異常コード E09	室外機
項目	データ		
39	室外EEV2開度	512P	

前ページ

戻る

㉔異常時運転データ消去

異常時運転データ消去

はい

操作を選択してください。

戻る

異常時運転データが消去されます。

㉕定期点検リセット

定期点検リセット

定期点検をリセットしますか？

はい

設定を選択してください。

戻る

定期点検リセット操作により、時間カウントがリセットされます。

㉖室内設定保存

室内設定保存

室内設定を保存

室内設定自動保存 ㉗

保存データの転送 ㉘

戻る

操作を選択してください。

㉗室内設定自動保存

室内設定自動保存

設定時刻に室内設定を自動保存します。

▲ AM 0:00 ▼

設定なし

セット

戻る

▲▼で時間を選択し、セットを押してください。

毎日の自動保存時刻を設定します。  
[設定なし] を選択すると、自動保存は行いません。

[室内設定を保存] リモコンに接続されている室内ユニットすべての設定をリモコンに保存します。

[室内設定自動保存] 毎日の自動保存時刻を設定します。  
[保存データの転送] リモコンに保存した室内設定データを室内ユニットに転送します。

⑧サービス・メンテ方法（つづき）

㉘保存データの転送

室内機選択

000

001

002

003

004

005

006

007

次ページ

戻る

室内機No.を選択してください。

**お知らせ**  
室内機基板を交換したが、設定内容が判らなくなったことはありませんか？  
リモコンに室内機設定を保存しておくと、[保存データの転送] により、保存されたデータが室内機に書込まれます。

転送する室内ユニットを選択すると、確認画面が表示されますので、データ転送を行ってください。

㉙特殊操作

特殊操作

室内機アドレス消去

CPUリセット

初期化設定

タッチパネル調整 ㉚

戻る

操作を選択してください。

**室内機アドレス消去** マルチ室内ユニットの記憶が消去されます。  
**CPUリセット** 接続されている、室内ユニット・室外ユニットのマイコンがリセット（停電復帰状態）されます。  
**初期化設定** 接続されている、リモコン・室内ユニットの設定が初期値（出荷状態）になります。  
**タッチパネル調整** 表示とタッチ位置が一致しない場合に調整します。

㉚タッチパネル調整

タッチパネル調整

調整開始

戻る

調整開始をタッチしてください。

選択した画面に移ります。

㉛タッチパネル調整画面 #1

右下の「+」をタッチしてください。

+

㉜タッチパネル調整画面 #2

左上の「+」をタッチしてください。

+

㉝タッチパネル調整画面 #3

「+」をタッチして位置を確認してください。

+

キャンセル

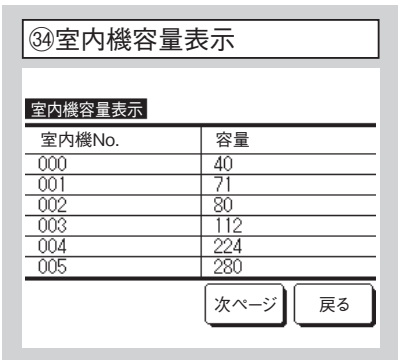
やり直し

確定

+

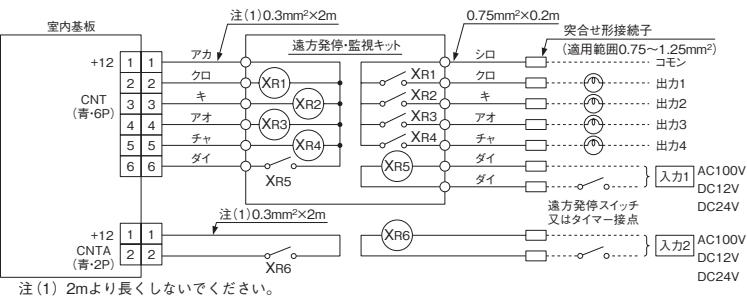
表示とタッチ位置が一致しない場合に調整します。  
画面の指示にそって、[+] マーク中心をタッチしてください。  
[確定] で終了します。

⑧ サービス・メンテ方法（つづき）



リモコンに接続されている室内機の容量を表示します。  
7 台以上接続の場合は、「次ページ」以降に表示がでます。  
室内ユニット—室外ユニットの組合せによっては表示できない場合があります。

⑨ 室内基板CNTコネクタの機能



- XR1~4はDC12Vリレー（オムロン製LY2F相当品）
- XR5は、DC12,24Vまたは100Vリレー（オムロン製MY2F相当品）
- CNTコネクタ（現地側）メーカー、形式  
コネクタ:モレックス製 5264—06  
端子:モレックス製 5263T  
別売品(PCZ006A043)を準備しておりますのでご利用ください。
- 遠方発停・監視キットを別売品にて準備しておりますのでご利用ください。
- CNTAコネクタは、FDT他に搭載＜仕様書で確認願います＞（現地側）メーカー、形式  
コネクタ:日本圧着端子JST製 XAP02V—1—E  
端子:日本圧着端子JST製 SXA—01T—P0.6  
別売品(PCZ006A053)を準備しておりますのでご利用ください。

●出力1～4、入力1・2を下記の項目より自由に選択・設定することができます。  
工場出荷時は下記のように設定されています。

出力	
① 運転出力	⑧ ファン運転出力3
② 暖房出力	⑨ デフロスト、油戻し出力
③ コンブ ON 出力	⑩ 換気出力
④ 点検（異常）出力	⑪ ヒータ出力
⑤ 冷房出力	⑫ フリークーリング出力
⑥ ファン運転出力1	⑬ 室内過負荷異常出力
⑦ ファン運転出力2	⑭ 冷媒漏洩出力

入力	
① 運転 / 停止	⑤ 設定温度シフト
② 運転許可禁止	⑥ 強制サーモ OFF
③ 緊急停止	⑦ 一時停止
④ 冷房 / 暖房	⑧ 静音モード

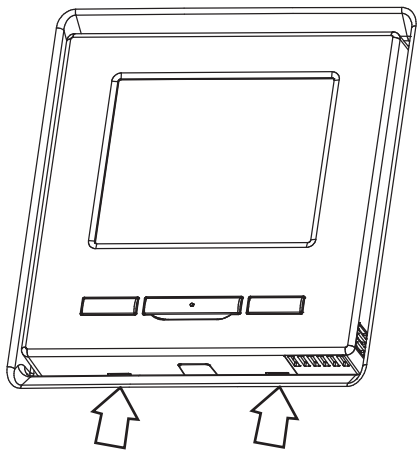
工場出荷時の設定

CNT-2	出力 1	運転出力	CNT-5	出力 4	点検(異常)出力
CNT-3	出力 2	暖房出力	CNT-6	入力 1	運転 / 停止
CNT-4	出力 3	コンブ ON 出力	CNTA	入力 2	運転 / 停止

●設定の方法は技術資料をご覧ください。

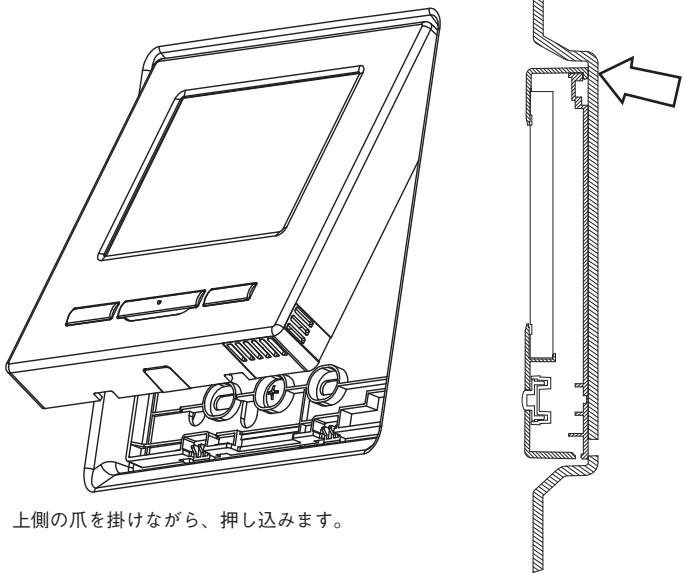
⑩ リモコンの外しかた

■取り外しかた



リモコン下面の凹（矢印部）にマイナスドライバーをいれて手前に引いてください。パネルを傷つけない様に注意してください。

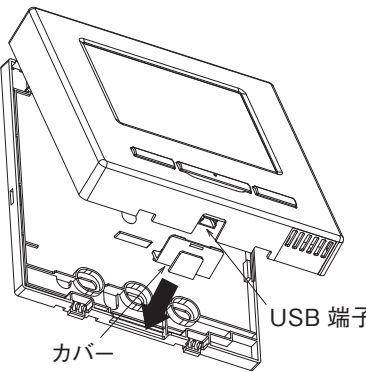
■取り付けかた



上側の爪を掛けながら、押し込みます。

お知らせ パソコン接続について

USB コネクター（mini-B）を介してパソコンからの設定が可能です。  
上ケース下面カバーを外して接続してください。  
使用後はカバーを元的位置にはめてください。  
接続には、専用のソフトが必要です。  
詳細は、ホームページ・技術資料を参照してください。



お知らせ パスワード初期化

管理者パスワード（日常使用する項目設定用）とサービスパスワード（据付・試運転・メンテナンス用）があります。  
○管理者パスワード初期値は、0000 です。設定変更ができます（取扱説明書参照）。  
管理者パスワードを忘れた場合は、管理者パスワード入力画面で [F1] [F2] スイッチを同時に5秒長押しするとパスワードは初期化されます。  
○サービスパスワードは、9999 です。設定変更ができません。  
管理者パスワード入力の時、サービスパスワードでも受付られます。

